

平成 7 年

(1995年)

気象概況

1月中旬と月末に冬型の気圧配置が強まって大雪となった。降水量は平年よりかなり多かったが、気温は平年並みであった。2月は月初めに大雪となったが、月降水量は平年比32～109%（かなり少ない～平年並み、気温もやや低い～平年並み）であった。

3月の天気は周期的に変化した。4月は気温は平年並みであったが、曇りや雨の日が多かった。5月も引き続き曇りや雨の日が多く、月降水量は平年に比べ192～296%とかなり多かった。彦根の月降水量348.5mmは5月では最も多い記録になった。特に、11日～15日には県内各地で雷を伴った大雨が降った。このため、琵琶湖の水位が+93cm(16日06時)となり、冠水等の被害が発生した。

6月も相変わらず曇りや雨の日が多く、上旬前半に近畿地方は梅雨入りとなった。気温は平年よりかなり低く、彦根の月間日照時間も平年比83%でやや少なかった。

7月も梅雨明けとなる下旬前半まで曇りや雨の日が多く、梅雨前線による豪雨があった。月降水量は平年比117～246%（平年並み～かなり多い）であった。

8月は太平洋高気圧に広く覆われて、高温、少雨、多照で記録的な猛暑となった。彦根の月平均気温28.6℃は高い方の第2位、月間日照時間は平年比142%の293.7時間で長い方の第2位の記録となった。

9月は前線や発達した低気圧、台風の影響で曇りや雨の日が多かったが、月降水量は少なかった。10月の上・中旬は天気が周期的に変わり、中旬は晴れの日が多かった。11月は時々冬型の気圧配置となって、気温は平年よりかなり低い～やや低かった。

12月は周期的に冬型の気圧配置となったが、下旬中頃には3年ぶりのクリスマス寒波に見舞われて大雪となった。

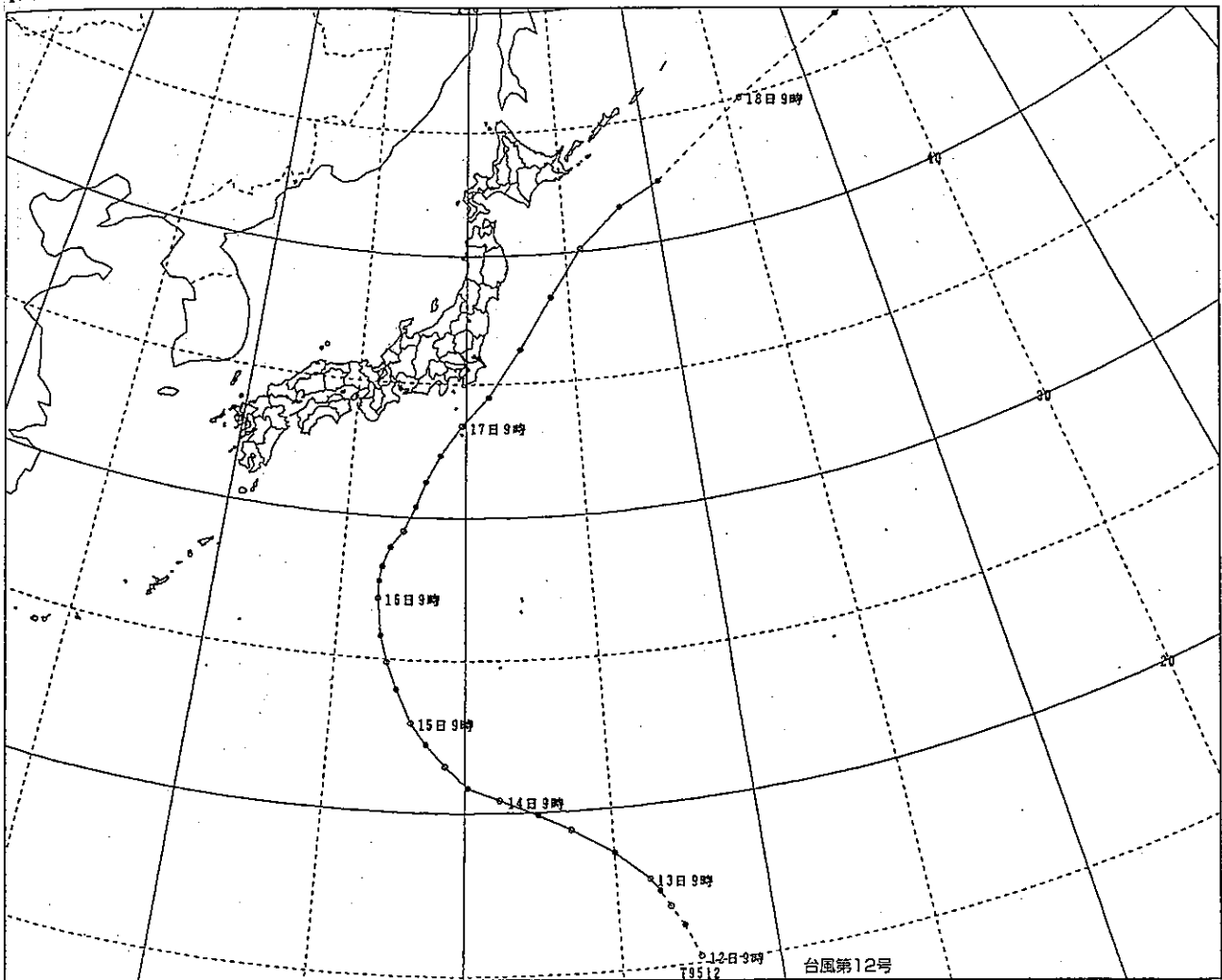
1

台風

(1) 台風の概況

台風の発生数は23個で、平年(27.8個)より少なく、1951年以降では第8位の少ない発生数となった。月別に見ると、1月～7月の間は平年に比べて少なかったが、8月以降は平年並みの発生数となった。また、台風の発生位置は平年に比べて西に偏っていた。日本への接近数は5個で、最も少ない1973年の4個に次ぐ記録となった。この中で日本本土へ上陸した台風は第14号のみであった。

【日本に影響のあった台風の経路】



《彦根地方気象台における極値》

台風番号	最低気圧	最大風速	最大瞬間風速
台風第12号	994.2hPa	NW 15.2m/s	NW 25.4m/s

(2) 災害の状況

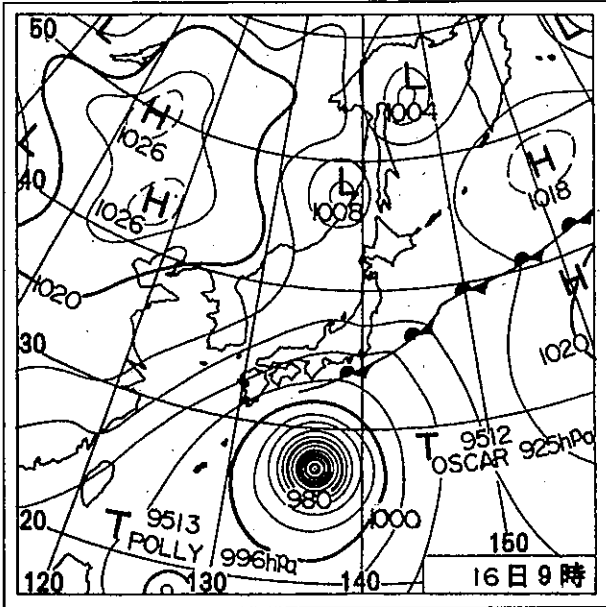
◆台風第12号(9月17日)

I 気象の概要

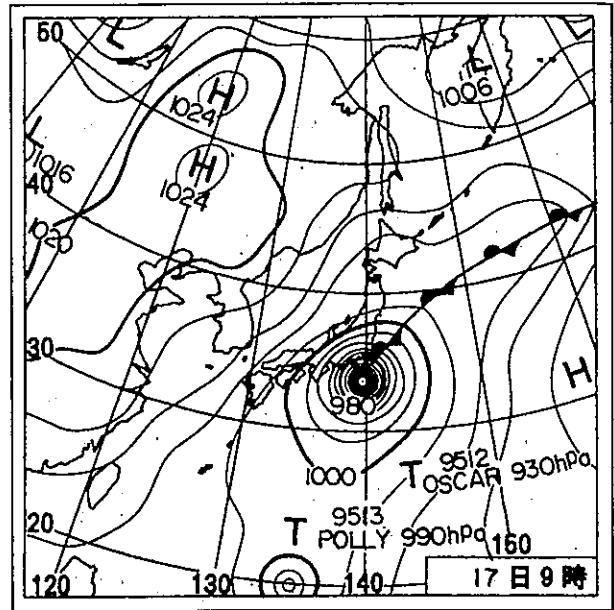
9月12日09時にサイパン島の東の海上で発生した弱い熱帯低気圧は北北西に進みながら発達し、13日03時にサイパン島の北の海上で台風第12号となった。台風はほぼ北西に進みながら発達し、15日03時には父島の南西海上で超大型で非常に強い勢力となった。その後、進路を次第に北北東に変え、17日09時前には

強い勢力を維持したまま中心が八丈島付近を通過した。同日午後には房総沖を経て三陸沖に進み、18日03時に北海道の東海上で温帯低気圧に変わった。彦根における最低気圧は994.2hPa（17日09時24分）、最大風速は北西の風15.2m/s（17日11時00分）、最大瞬間風速は北西の風25.4m/s（17日10時48分）であった。

【9月16日9時の天気図】



【9月17日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

17日午前中を中心に雨が降ったが降水量は多くなかった。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(9月17日)

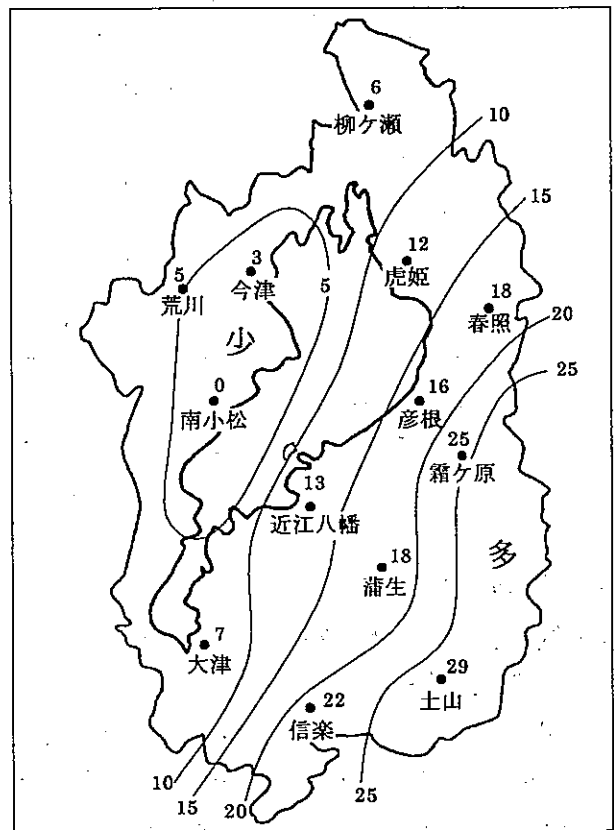
観測所	日	17日
柳ヶ瀬		6
今津		3
虎姫		12
荒川		5
春照		18
南小松		-
彦根		16
近江八幡		13
霜ヶ原		25
蒲生		18
大津		7
信楽		22
土山		29

- = なし

【降水量分布図】

単位 (mm)

(9月17日)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発 表 ・ 切 替 ・ 解 除
強風注意報	16日13時00分	発表
暴風警報	17日08時15分	切替
強風注意報	17日13時00分	〃
〃	18日05時30分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
台風に関する情報第1号	16日16時40分	台風に関する情報第5号	17日10時15分
台風に関する情報第2号	16日22時00分	台風に関する情報第6号	17日13時25分
台風に関する情報第3号	17日04時10分	台風に関する情報第7号	17日16時15分
台風に関する情報第4号	17日07時10分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配 備 ・ 切 替 ・ 解 除
第2号警戒体制	17日08時15分	配備
〃	17日13時00分	解除

Ⅳ 被害の状況

(ア) 農産物被害

名 称	数量 (ha)	被害金額 (千円)	被災市町村	被害程度
水 稲	430.5	887	県内各所	
ほうれん草	0.02	300	守山市	ハウス倒壊で全壊
な し り	66	2,100	愛東町 マキノ町	落果
計	66.02	2,400		

(イ) 農林水産・土木関係被害

名 称	被災数	被害金額 (千円)	被災市町村	被害程度
パイプハウス (共同)	5カ所	100	安土町	小破
防鳥ネット	3000㎡	700	守山市	ネット破損
パイプハウス (非共同)	103ヶ所	5,919	守山市・中主町・野洲町・近江八幡市・能登川町	全壊1棟 ビニール破損他
計	109ヶ所	6,719		

(ウ) 被害金額

区 分	金額 (千円)
農産被害	9,119
《被害総額》	9,119

(エ) その他の状況

区 分	被 害 の 程 度
鉄 道	JR西日本によると、琵琶湖岸を走る湖西線の堅田-近江今津で始発から上下線合わせて35本が部分運休した。特急列車は、富山行き特急「スーパー雷鳥1号」など21本が東海道本線へ迂回運転し、最大20分遅れが出た。12時20分に通常運転を再開したが、乗客合わせて約13,000人影響が出た。

◆兵庫県南部地震（1月17日）

平成7年1月17日05時46分、淡路島北端部を震源とするM（マグニチュード）7.2の地震が発生した。この地震により、神戸と洲本で震度6、彦根・京都・豊岡で震度5を観測した他、東北地方南部から九州にかけての広い範囲で有感となった。この地震にともない、大阪管区気象台は3月31日までに地震・津波情報やその後の余震状況など262号の情報を発表した。

気象庁本庁は、17日に2班からなる地震機動観測班を派遣し、大阪管区気象台などと協力して、地震計・計測震度計の設置、震度判定のための調査を行った。この結果、淡路島の北部の一部地域から、神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市にかけての帯状の地域では、震度7であったことが判明した。震度7は、昭和23年（1948年）の福井地震を契機に制定された震度であるが、制定後震度7が確認されたのは今回が初めてのことである。

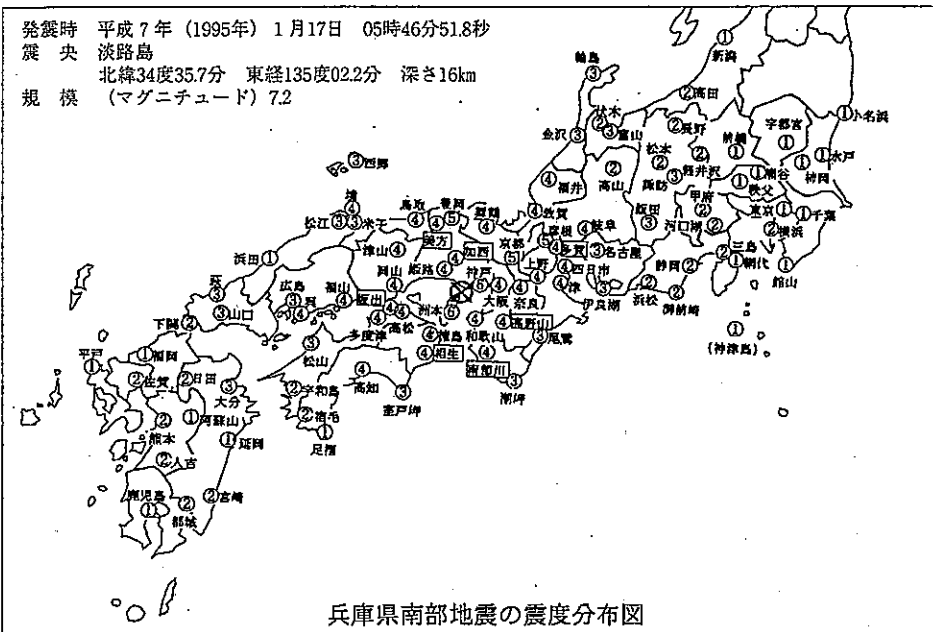
この地震による被害は極めて甚大で、平成12年1月現在の自治省消防庁の調べによると、人的被害は死者6,432人、負傷者43,782人にのぼり、全壊家屋104,900棟、半壊家屋144,255棟におよび、ガスの供給停止、断水、停電などライフラインにも多大な被害を生じた。この数字は、福井地震（死者3,769人、負傷者22,203人、家屋全壊36,184棟）を大幅に上回り、今世紀の地震災害としては大正12年（1923年）の関東大震災に次ぐものとなった。滋賀県内では、負傷者9人の他、鉄道や道路の一時不通、断水、停電、ガス漏れ等の被害があった。

気象庁はこの地震を「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」と命名した。また、政府はその後の復興などに関しては「阪神・淡路大震災」の名称を用いることとした。

この地震の震源付近で1月16日18時28分（M3.5 震度1：神戸）の他、18時49分、23時49分に前震と思われる地震が3回発生していた。

余震活動は、17日には有感地震が100回を超えるなど活発であったが、その後消長を繰り返しながら次第に減衰し、同年3月31日までの余震回数は1,771回、うち有感余震回数は287回を観測している。また、最大余震は17日07時38分のM5.4の地震で、彦根では震度3を観測した。

近畿地方では、昭和19年（1944年）の東南海地震（M7.9）、昭和21年（1946年）の南海地震（M8.0）など海溝型の大地震により繰り返し被害を被ってきた。また、内陸部には過去の地震活動を物語る活断層が



密に分布しており、滋賀県でも例外ではない。今回のようなM7を超える内陸地震は、昭和2年（1927年）の北丹後地震（M7.3）以来ではあるが、地震学者などからは、西日本は地震活動の活動期に入ったとの指摘もあり、引き続き地震活動の監視や災害対策を強化していく必要がある。

II 被害の状況

(ア) 人的被害

区分	人	被災市町村(人)
負傷者		
重傷	1	彦根市(1)
軽傷	8	大津市(3) 中主町(1) 長浜市(1) 近江町(1) びわ町(1) 彦根市(1)

(イ) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
住家被害				
一部破損	91	96	388	大津市(34・39・156) 草津市(5・5・20) 中主町(2・2・9) 長浜市(1・1・4) 米原町(39・39・159) 近江町(5・5・19) 近江八幡市(5・5・21)
非住家				
公共建物	11			長浜市(9) 木之本町(1) 安土町(1)
その他	20			大津市(11) 志賀町(1) 長浜市(2) 米原町(2) 安土町(3) 彦根市(1)

(ウ) 土木関係被害

区分	箇所	戸	被災市町村(箇所、戸)
学校	20		大津市(1) 長浜市(7) 近江町(4) びわ町(1) 木之本町(6) 近江八幡市(1)
水道		76	大津市(36) 近江八幡市(40)
電気(停電)		100	大津市(100)
ガス		22	大津市(22)
ブロック塀	3		大津市(2) 長浜市(1)

(エ) 被害金額

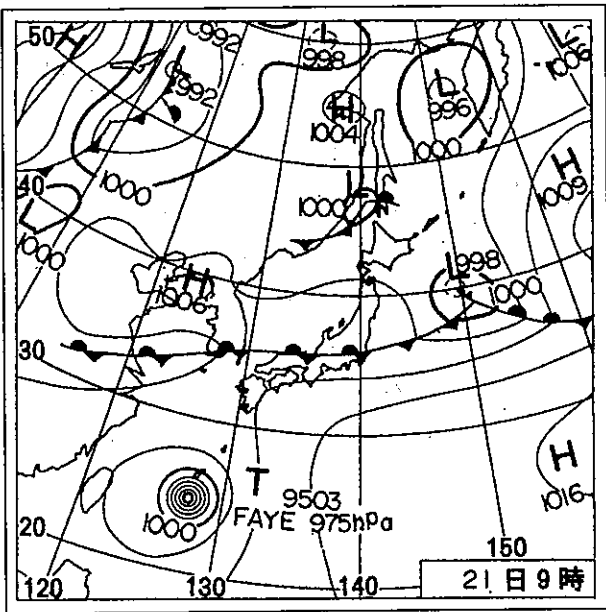
区分	金額(千円)
公立文教施設	6,272
その他の公共施設	24,836
〈小計〉	31,108
商工被害	800
その他	27,970
〈被害総額〉	59,878

◆梅雨前線豪雨（7月20日～22日）

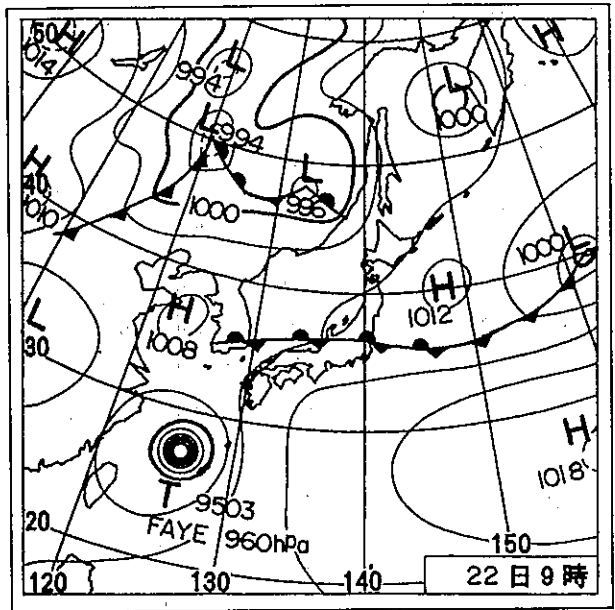
I 気象の概要

20日は低気圧が日本海を東進して三陸沖に進み、これに伴う前線が本州中部から山陰に伸びた。21日はこの前線が山陰沖から関東に停滞、また、台風第3号が沖縄の南海上から東シナ海に進み、22日は台風第3号が東シナ海を北上した。

【7月21日9時の天気図】



【7月22日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

滋賀県では20日から断続的に雨が降り、20日夜から21日を中心に各地で激しい雨が降った。柳ヶ瀬で21日07時までの1時間に41mm、彦根で08時までの1時間に43mm、蒲生では14時までの1時間に31mm、大津では14時までの1時間に26mm、16時までの3時間で59mmの豪雨となり、21日の日降水量は大津で131mmに達した。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

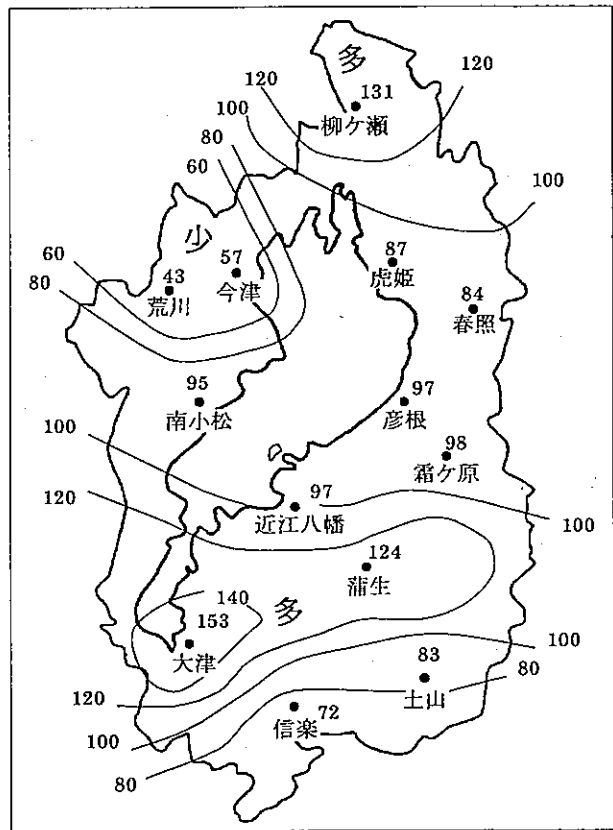
(7月20日~22日)

観測所	日	20日	21日	22日	計
柳ヶ瀬		42	58	31	131
今津		16	35	6	57
虎姫		16	55	16	87
荒川		11	27	5	43
春照		17	43	24	84
南小松		5	69	21	95
彦根		5	77	15	97
近江八幡		2	75	20	97
霜ヶ原		3	61	34	98
蒲生		1	114	9	124
大津		11	131	11	153
信楽		18	43	11	72
土山		8	64	11	83

【降水量分布図】

単位 (mm)

(7月20日~22日)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発表時刻	発表・切替・解除
雷注意報	20日04時30分	発表
南部 雷注意報 北部 大雨・雷・洪水注意報	20日20時20分	切替
大雨・雷・洪水注意報	20日23時30分	〃
南部 大雨・雷・洪水注意報 北部 大雨・洪水警報・雷注意報	21日07時05分	〃
大雨・雷・洪水注意報	21日09時40分	〃
南部 大雨・洪水警報・雷注意報 北部 大雨・雷・洪水注意報	21日13時55分	〃
大雨・雷・洪水注意報	21日21時45分	〃
大雨・雷・洪水注意報	22日07時15分	〃
雷注意報	22日21時10分	〃
〃	23日05時20分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発表時刻	種 類	発表時刻
大雨に関する情報第1号	21日16時30分	大雨に関する情報第3号	22日16時30分
大雨に関する情報第2号	22日07時45分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	20日20時20分	配備
第2号警戒体制	21日07時05分	切替
第1号警戒体制	21日09時40分	〃
第2号警戒体制	21日13時55分	〃
第1号警戒体制	21日21時45分	〃
〃	22日21時10分	解除

IV 被害の状況

(ア) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
住家 床下浸水	33	33	80	大津市(10・10・10) 石部町(2・2・7) 八日市市(1・1・1) 彦根市(20・20・62)
非住家 その他	2			大津市(1) 彦根市(1)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区 分	箇所	被災市町村(箇所)
道 路	5	栗東町(5)
河 川	2	大津市(2)

(ウ) 被害金額

区 分	金額(千円)
農林水産業施設	5,980
公共土木施設	1,150
その他公共施設	206
〈小 計〉	7,336
その他	1,050
〈被害総額〉	8,386

(エ) その他の状況

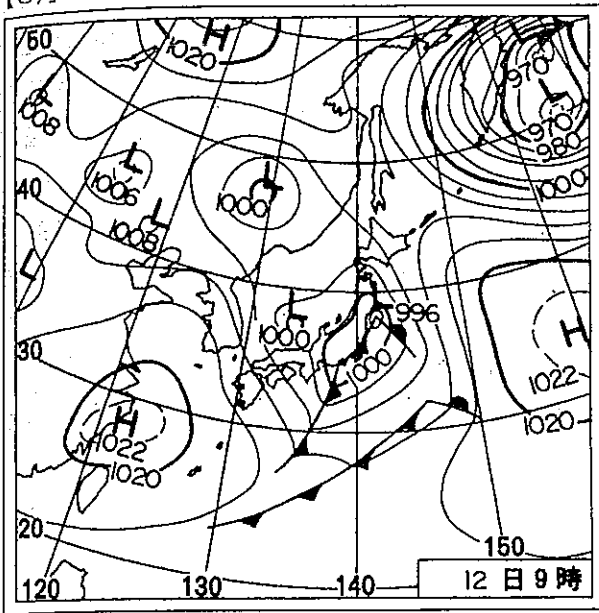
区 分	被 害 の 程 度
鉄 道	JR東海道線、米原-醒ヶ井間で1時間余り、上下列車とも運転を見合わせた。このため、特急「しらさぎ2号」等2本が運休、16本が最高14分遅れ、約3,500人が影響を受けた。

◆大雨(5月11日~15日)

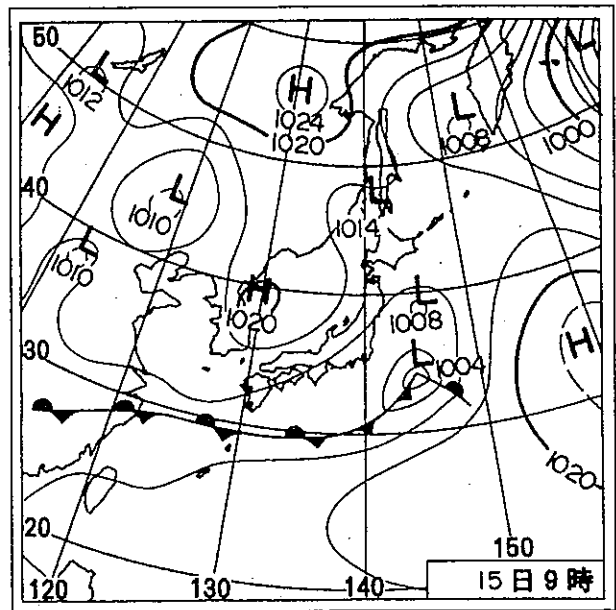
I 気象の概要

11日は四国沖に低気圧が発生し、ゆっくり東北東進したため朝から全域で雨となった。12日は、低気圧が近畿地方の南岸をゆっくり東進したため、全域で終日雨となり、特に、日中を中心に各地で1時間降水量20~40mmの激しい雨が降った。荒川では05時~13時まで9時間連続で時間雨量10~20mmの強雨が降り続いた。日降水量は荒川、土山で200mmを超え、その他の地域でも100~150mmに達した。13日は、低気圧が東海沖から関東の東海上に進み、滋賀県では朝の内まで雨が残った。14日は、黄海から九州の西海上に進んだ低気圧から東日本の南岸に伸びる前線に、南西諸島付近の熱帯低気圧の影響で暖かい湿った空気が入り雨が降った。15日は、低気圧が本州南岸の前線上を、また、熱帯低気圧が日本の南海上を共に東北東進したため雨が降った。

【5月12日9時の天気図】



【5月15日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

5月11日昼頃から降り始めた雨は、同日夕刻より激しくなり、県下全域で時間雨量20mmを越える強い雨を記録した。中でも県の南東部と琵琶湖をはさんだ北西部の広い範囲で激しい雨に見舞われ、最大時間雨量は、土山町(大河原)で30mm、日野町(熊野)で22mm、信楽町(長野)で34mm、甲賀町(大原)で33mmをそれぞれ記録したのを始め、湖西地方の今津町(河内谷)で22mm、朽木村(市場)においても24mmを記録した。

また、最大24時間雨量も土山町(大河原)で282mm、日野町(熊野)で214mm、信楽町(長野)で191mm、甲賀町(大原)で205mm、今津町(河内谷)で260mm、朽木村(市場)で255mmと県下各地で非常に強い雨を記録した。

総雨量では前記各観測所で210~355mmを記録し、他の県下各観測所においても150~300mmに達する豪雨となった。

また、彦根地方気象台の観測によると、5月における最大24時間雨量(気象台-109mm-11~12日)は気象台観測史上最大となる記録的大雨であった。

この豪雨により各所で河川は増水し、河岸の欠損や道路においては路肩法面崩壊等、公共土木施設に被害が発生した。

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

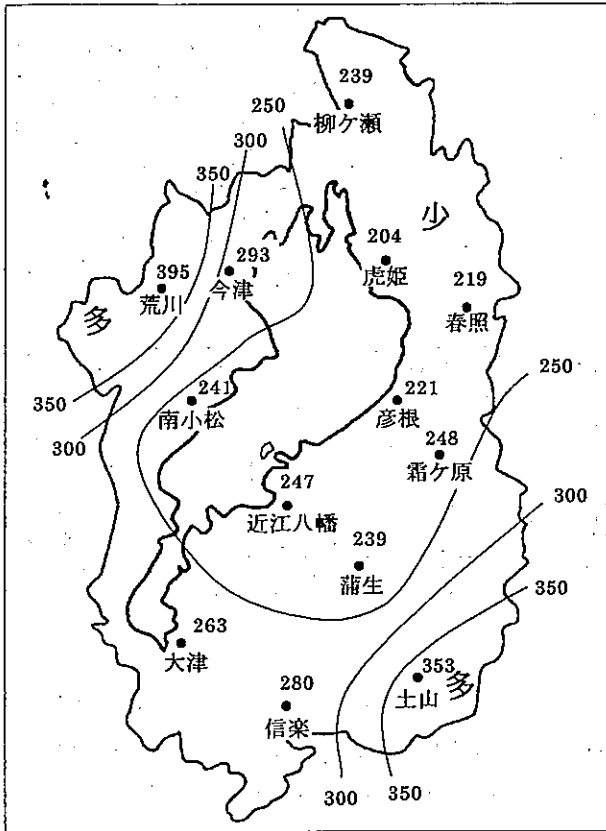
(5月11日~15日)

観測所	日	11日	12日	13日	14日	15日	計
柳ヶ瀬		56	102	12	18	51	239
今津		76	128	4	27	58	293
虎姫		50	68	11	22	53	204
荒川		83	223	5	23	61	395
春照		25	95	19	24	56	219
南小松		52	106	4	23	56	241
彦根		46	86	10	24	55	221
近江八幡		45	124	5	20	53	247
霜ヶ原		45	116	15	23	49	248
蒲生		50	109	9	23	48	239
大津		40	143	2	27	51	263
信楽		43	153	5	33	46	280
土山		41	231	13	30	38	353

【降水量分布図】

単位 (mm)

(5月11日～15日)



Ⅲ 出水の状況

日本列島上をゆっくり東へ移動した気圧の谷と、紀伊半島沖に停滞した低気圧の影響により、5月11日～13日にかけて県下各地で総雨量は210～355mmに達する豪雨であった。

この雨は11日夕刻から12日夜にかけて集中的に降ったもので、時間雨量が22～34mmといった強い雨となった。

最大24時間雨量についても100～280mmに達した。

このため、県下の広い範囲で河川は増水し、中でも県東南部を流域に持つ野洲川、柚川、大戸川、日野川や湖西の安曇川、石田川といった河川において、警戒水位を越えた。

このため日野川他4河川で水防警報を発令し、警戒するとともにその他の河川においても県・市町村を始め地元水防団が警戒にあたった。

この豪雨出水により、小河川は溢水し家屋の浸水や低地の浸水、道路の通行規制など一般被害は大きく、各地河川の河岸の決壊や道路路肩方面崩壊等、公共土木施設に被害が発生した。

また、市町管理の、普通河川や市町道でも上記同様大きな被害を受けた。

特に琵琶湖においては、豪雨による各河川からの出水により、基準水位+93cmを記録した。これは昭和47年7月の+92cm以来で、5月としては明治20年以來の高水位となり湖岸の浸食崩壊の被害も発生した。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	直轄・管轄・県土木事務所名	警戒水位 (m)	最高水位 (m)	日時
日野川	仁保橋	草津土木	2.5	3.48	12日17時
野洲川	野洲	草津土木	2.8	3.00	12日17時
大戸川	大戸川旭橋	水口土木	2.3	3.03	12日15時
日野川	安吉橋	八日市土木	3.0	3.75	12日16時
日野川	桐原橋	八日市土木	3.0	4.20	12日17時
祖父川	鵜川橋	八日市土木	1.5	1.65	12日14時

IV 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発 表 ・ 切 替 ・ 解 除
大雨・洪水・雷・強風注意報	11日18時40分	発表
大雨・洪水警報・雷・強風注意報	12日08時50分	切替
洪水警報・大雨・雷注意報	12日17時00分	〃
洪水警報・大雨注意報	12日21時50分	〃
大雨・洪水注意報	13日02時40分	〃
〃	13日05時50分	解除
大雨・雷・洪水注意報	14日11時50分	〃
〃	15日17時00分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
大雨に関する情報第1号	12日00時30分	大雨に関する情報第4号	12日22時20分
大雨に関する情報第2号	12日11時30分	大雨に関する情報第1号	14日17時30分
大雨に関する情報第3号	12日14時30分	大雨に関する情報第2号	15日09時40分

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配 備 ・ 切 替 ・ 解 除
第1号警戒体制	11日18時40分	配備
第2号警戒体制	12日08時50分	切替
第1号警戒体制	13日02時40分	〃
〃	13日05時50分	解除
第1号警戒体制	14日11時50分	配備
〃	15日17時00分	解除

V 被害の状況

(ア) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
住家被害 床下浸水	39	41	121	大津市(5・5・15) 草津市(3・3・12) 守山市(7・7・21) 土山町(5・5・19) 八日市市(11・13・29) 安土町(4・4・8) 竜王町(3・3・16) 高島町(1・1・1)
非住家 その他	24			大津市(3) 栗東町(1) 八日市市(20)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	ha	箇所	被災市町村 (ha、箇所)
田	流失・埋没	2.3	大津市(1.4) 土山町(0.002) 信楽町(0.91)
	冠水	278.6	大津市(1.73) 守山市(81.75) 八日市市(57) 安土町(9) 竜王町(30) 彦根市(5.2) 西浅井町(15.8) マキノ町(7.4) 今津町(70.7)
畑	流失・埋没	0.3	信楽町(0.31)
	冠水	0.7	守山市(0.468) 彦根市(0.2)
その他	道路	101	大津市(31) 草津市(16) 守山市(1) 栗東町(15) 土山町(5) 甲賀町(6) 甲南町(1) 信楽町(2) 日野町(9) 永源寺町(2) 彦根市(1) 多賀町(2) 木之本町(4) 西浅井町(2) 今津町(1) 安曇川町(2) 新旭町(1)
	河川	159	大津市(15) 草津市(3) 守山市(2) 栗東町(3) 甲西町(3) 水口町(1) 土山町(3) 甲賀町(16) 甲南町(3) 信楽町(51) 近江八幡市(3) 八日市市(1) 蒲生町(7) 日野町(10) 竜王町(8) 永源寺町(6) 能登川町(3) 彦根市(5) 多賀町(1) マキノ町(1) 今津町(6) 朽木村(4) 高島町(4)
他	港湾	1	高島町(1)
	砂防	1	栗東町(1)
	崖くずれ	47	大津市(12) 信楽町(29) 木之本町(2) マキノ町(1) 今津町(3)

(ウ) 被害金額

区分	金額(千円)
農林水産業施設	419,603
公共土木施設	2,274,089
その他の公共施設	26,444
〈小計〉	2,720,136
農産被害	94,661
その他	6,238
〈被害総額〉	2,821,035

(エ) その他の状況

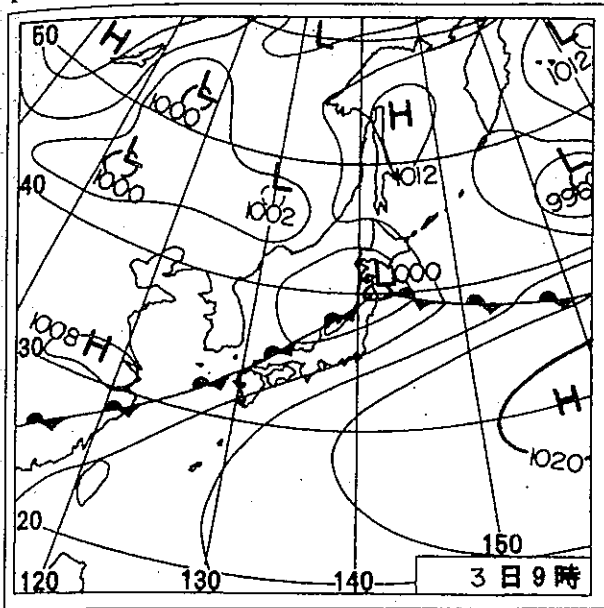
区分	被害の程度
交通障害	道路損壊17箇所、土砂崩れ8箇所、道路通行止め20箇所、鉄道・バス交通では信楽高原鉄道、近江鉄道、日野から貴生川区間で多雨による運転見合わせ、堅田葛川線一部運休。
学校	12日小中学校は、午後の早い段階で下校させた。8市町村の計24校では終業時刻を繰り上げた。また、定時制の県立高校は休校した。

◆大雨(7月2日～6日)

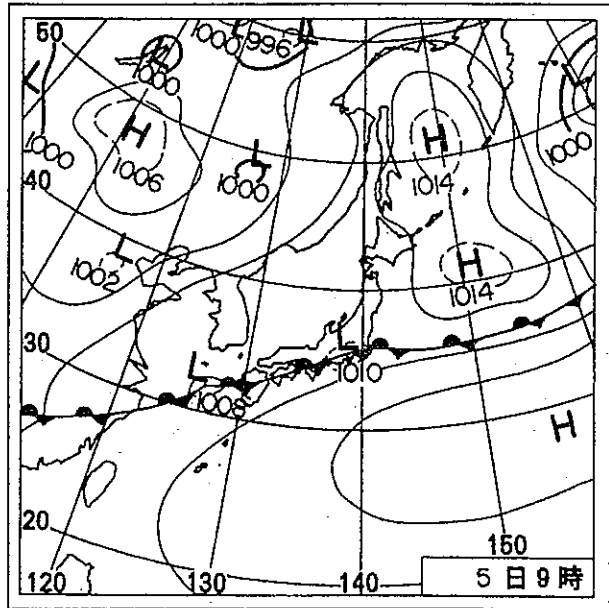
I 気象の概況

2日は、西日本では前線が一旦日本海まで北上し、前線上の対馬海峡に発生した低気圧が山陰沖を東北東進後、再び九州北部まで南下した。滋賀県では午後から断続的に強い雨が降り、彦根で18時までの1時間に30mmを観測した。3日は低気圧が日本海を東北東進して、前線が九州北部から東日本の南岸に停滞した。滋賀県では午前中を中心に各地で激しい雨が降り、柳ヶ瀬で09時までの1時間に46mm、10時までの1時間に31mmを観測、春照で11時までの1時間に41mmを観測した。日降水量も柳ヶ瀬で138mmに達した。4日も前線は九州南部から東日本の南岸に停滞したため、03時～09時頃にかけて激しい雨が降り、信楽で06時までの1時間31mm、大津で08時までの1時間に27mmを観測した。5日から6日は前線上の東シナ海で低気圧が発生して東進したため雨が降り続き、6日も朝の内一時強い雨が降った。

【7月3日9時の天気図】



【7月5日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

2日夕刻より降り始めた雨は、県西部及び北部から次第にその範囲を広げ、3日午前からは県下全域で時間雨量20~70mmに達する強い雨となった。

最大時間雨量は、余呉町(椿坂)で74mm、木之本町(杉野)で47mm、彦根市で33mm、大津市で26mm、日野町(熊野)で30mm、信楽町(長野)で33mmに達する豪雨を記録した。

最大24時間雨量は余呉町(椿坂)で119mm、木之本町(杉野)で158mm、彦根市で86mm、大津市で110mm、日野町(熊野)で129mm、信楽町(長野)で129mmに達するなど非常に強い雨を記録した。

またこの期間中の総雨量は余呉町(椿坂)で207mm、木之本町(杉野)で264mm、彦根市で220mm、大津市で259mm、日野町(熊野)で269mm、信楽町(長野)で286mmに達するなど多くの観測所で200mmを越える豪雨であった。これは梅雨前線が滋賀県上に停滞し、これらの活動が活発になるのに伴い断続的に強い雨となった結果で、河岸の決壊や道路法面崩壊等、公共土木施設に被害が発生した。

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

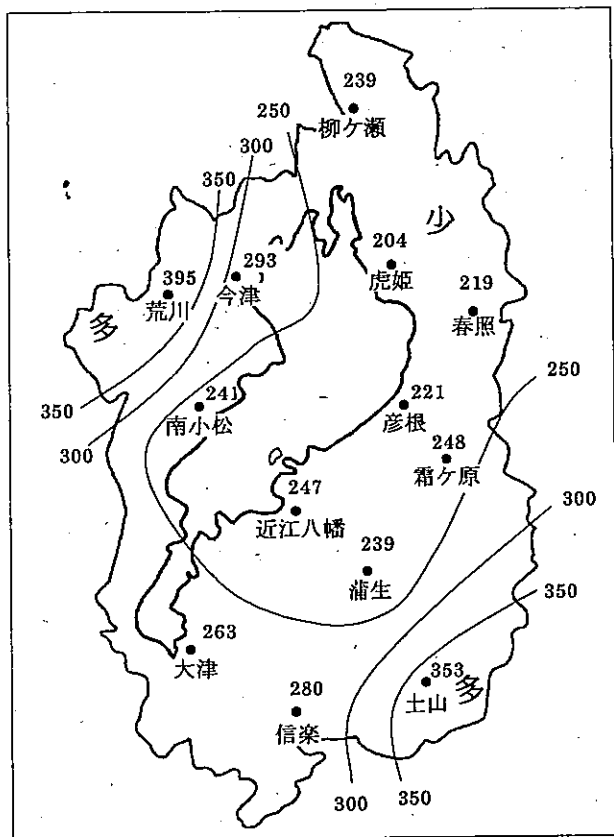
(7月2日~6日)

観測所	日	2日	3日	4日	5日	6日	計
柳ヶ瀬		22	138	37	54	21	272
今津		5	56	31	53	25	170
虎姫		24	71	30	55	36	216
荒川		8	51	30	61	28	178
春照		29	72	29	56	36	222
北小松		15	70	24	57	32	198
彦根		33	49	24	51	37	194
近江八幡		14	44	47	53	44	202
霜ヶ原		7	49	43	57	59	215
蒲生		2	46	61	69	56	234
大津		10	54	81	94	53	262
信楽		1	58	97	84	49	289
土山		4	39	83	71	47	244

【降水量分布図】

単位 (mm)

(7月2日～6日)



Ⅲ 出水の状況

鈴鹿山脈を源流に持つ日野川で警戒水位を越えて水位が上昇したため、水防警報を発令し県・市町をはじめ地元水防団が警戒にあたった。

日野川の支川である祖父川においても警戒水位を突破した。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	直轄・委託 土木事務所名	警戒水位 (m)	最高水位 (m)	日 時
日野川	仁保橋	草津土木	2.50	2.56	4日12時
大戸川	大戸川旭橋	水口土木	2.30	2.58	4日09時
日野川	桐原橋	八日市土木	3.00	3.44	4日11時
日野川	仁保橋	草津土木	2.50	2.53	6日11時
日野川	桐原橋	八日市土木	3.00	3.21	6日11時

Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発表時刻	発表・切替・解除
雷注意報	2日14時20分	発表
大雨・雷・洪水注意報	2日17時40分	切替
雷注意報	2日20時00分	〃
大雨・雷・洪水注意報	3日08時30分	〃
大雨・洪水警報・雷注意報	3日09時00分	〃
大雨・雷・洪水注意報	3日14時45分	〃
大雨・雷・洪水注意報	3日22時20分	〃
大雨・雷・洪水注意報	4日13時50分	解除
大雨・雷・洪水注意報	4日23時30分	発表
大雨・雷・洪水注意報	6日06時10分	切替
大雨・雷・洪水注意報	6日16時00分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
大雨に関する情報第1号	3日11時20分	大雨に関する情報第3号	5日16時50分
大雨に関する情報第2号	5日09時50分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配 備 ・ 切 替 ・ 解 除
第1号警戒体制	2日17時40分	配備
〃	2日20時00分	解除
第1号警戒体制	3日08時30分	配備
第2号警戒体制	3日09時00分	切替
第1号警戒体制	3日14時45分	〃
〃	3日13時50分	解除
第1号警戒体制	4日23時30分	配備
〃	6日16時00分	解除

IV 被害の状況

(ア) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)	
住家被害	一部破損	3	3	10	大津市(3・3・10)
	床上浸水	1	1	4	大津市(1・1・4)
	床下浸水	15	15	35	大津市(3・3・11) 長浜市(6・6・11) 虎姫町(1・1・1) 木之本町(4・4・9) 余呉町(1・1・3)
非住家	その他	3			大津市(3)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区 分	ha	箇所	被災市町村(ha、箇所)
田	流失・埋没	0.5	大津市(0.5)
	冠水	2.0	栗東町(2.0)
畑	冠水	0.1	木之本町(0.1)
その他	道 路	39	大津市(23) 栗東町(6) 水口町(2) 信楽町(3) 日野町(4) 木之本町(1)
	橋りょう	1	日野町(1)
他	河 川	14	守山市(1) 栗東町(1) 信楽町(3) 日野町(4) 竜王町(4) 豊郷町(1)
	崖くずれ	19	大津市(3) 水口町(1) 日野町(10) 余呉町(5)
	ブロック塀	3	大津市(3)

(ウ) り災者数・り災世帯数

名 称	り災規模	被災市町村
り災世帯数	世帯 1	大津市
り災人数	人 4	

(エ) 被害金額

区 分	金額(千円)
農林水産業施設	135,070
公共土木施設	173,142
〈小 計〉	308,212
その他	1,820
《被害総額》	310,032



強 風

◆強風（2月21日）

I 気象の概要

冬型気圧配置が強まり、新たな寒気も入ったため北西の風が強かった。

彦根で最大風速 西北西 9.4m/s

最大瞬間風速 西北西 15.2m/s を観測した。

II 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区 分	棟	被災市町村(棟)
ビニールハウス	6	マキノ町(1) 今津町(2) 安曇川町(1) 新旭町(2)

(イ) 被害金額

区 分	金額(千円)
農産被害	920
《被害総額》	920

4

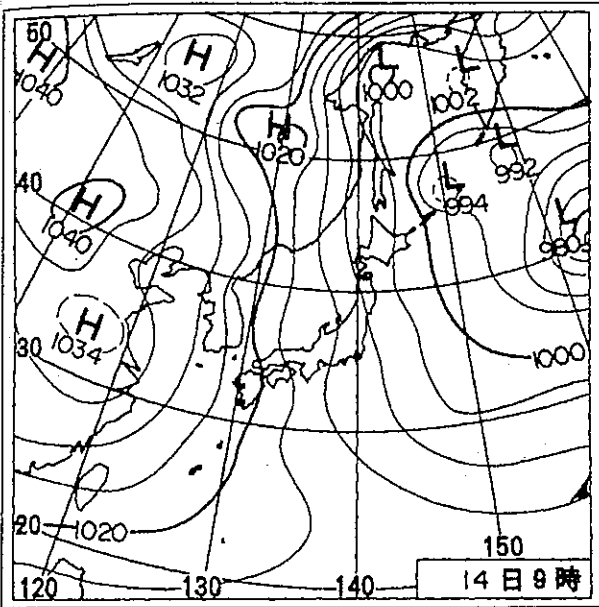
雪 害

大雪(1月13日~15日)

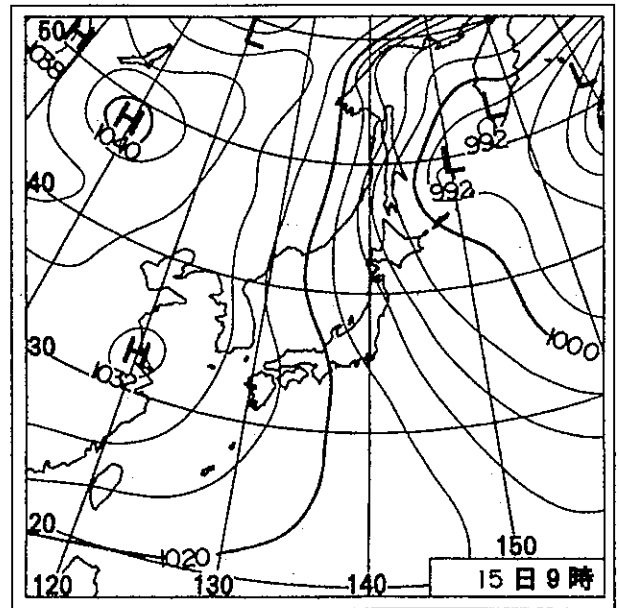
I 気象の概要

13日から冬型の気圧配置が強まり夜から雪が降りだし、断続的な降雪により14日には大雪となった。この天気は15日まで続いた。

【1月14日9時の天気図】



【1月15日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雪の状況

《気象台観測所積雪》

単位 (cm)

地域気象観測所における09時の積雪の深さ

(1月15日09時)

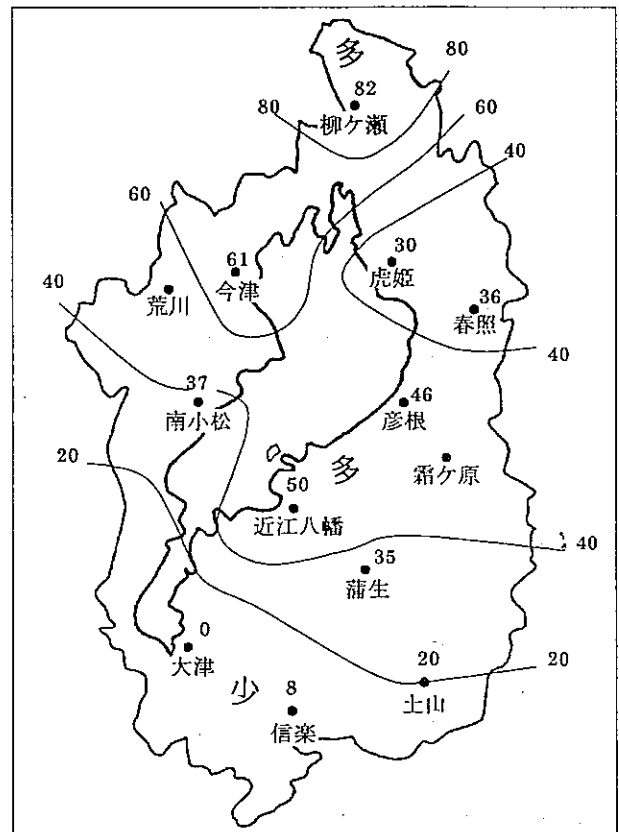
観測所	日	15日
柳ヶ瀬	瀬	82
今津	津	61
虎姫	姫	30
荒川	川	-
春照	照	36
南小松	松	37
彦根	根	46
近江八幡	幡	50
霜ヶ原	原	-
蒲生	生	35
大津	津	0
信楽	楽	8
土山	山	20

- = なし 0 = 1cm未満

【積雪分布図】

単位 (cm)

(1月15日09時)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
南部 強風注意報 北部 風雪注意報	13日05時30分	発表
南部 風雪注意報 北部 大雪・風雪注意報	13日11時20分	切替
南部 大雪・風雪注意報 北部 大雪警報・風雪注意報	13日22時40分	◇
大雪・風雪注意報	14日06時00分	◇
南部 大雪・風雪注意報 北部 大雪警報・風雪・なだれ注意報	14日16時45分	◇
南部 大雪警報・風雪注意報 北部 大雪警報・風雪・なだれ注意報	14日20時45分	◇
南部 大雪・風雪注意報 北部 大雪警報・風雪・なだれ注意報	15日05時00分	◇
南部 風雪注意報 北部 大雪・風雪・なだれ注意報	15日13時50分	◇
北部 なだれ注意報	16日05時30分	◇

(イ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	13日22時40分	配備
◇	14日06時00分	解除
第1号警戒体制	14日16時45分	配備
◇	15日13時50分	解除

(ウ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻
大雪に関する情報第1号	14日21時30分

Ⅳ 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区 分	棟	被 災 市 町 村 (棟)
パイプハウス	68	野洲町(4) 近江八幡市(8) 八日市市(1) 安土町(18) 能登川町(9) 彦根市(9) 甲良町(2) マキノ町(4) 今津町(2) 朽木村(1) 高島町(10)

(イ) 被害金額

区 分	金額 (千円)
農産被害	28,925
畜産被害	4,400
《被害総額》	33,325

Ⅴ その他の状況

15日09時50分頃伊吹町津原の奥伊吹スキー場で高さ15mの杉の樹木が雪で倒れて、スキー場につながる送電線を引っかけ送電がストップした。このため稼働していた5基のリフトが停止した。リフトにはスキー客約350人が乗っており、約1時間20分後に全員無事救助した。16日02時45分に復旧した。

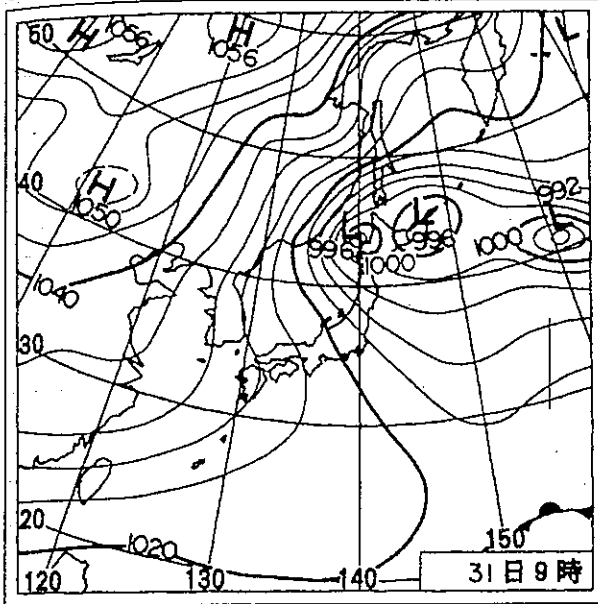
また、同スキー場から南10kmの伊吹町上野の伊吹山スキー場でも10時頃停電で2基のリフトが停止した。約80人のスキー客が乗っていたが、まもなく係員が救助した。リフトは5時間後に復旧した。

◆大雪(1月30日~2月1日)

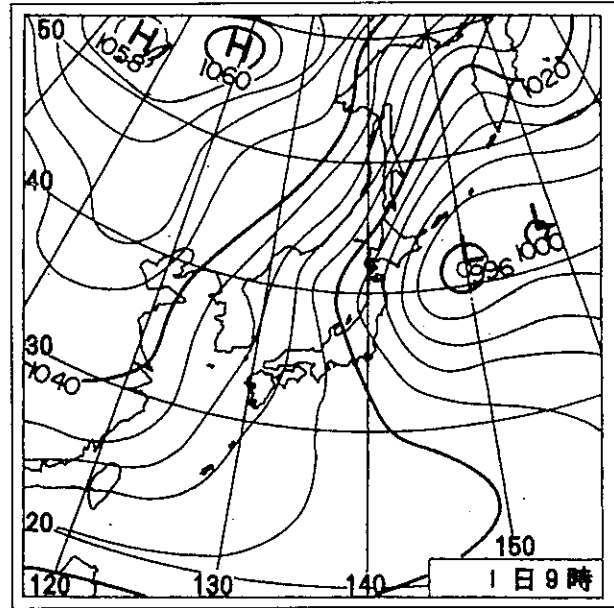
I 気象の概要

29日、能登半島沖の低気圧が東進して上空に寒気が入り、30日は低気圧が北海道の東海上で発達して強い冬型の気圧配置となり2月1日まで続いた。

【1月31日9時の天気図】



【2月1日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雪の状況

滋賀県では30日から雪が降り続き2月1日にかけて大雪となった。

単位 (cm)

地域気象観測所における09時の積雪の深さ

(2月1日09時)

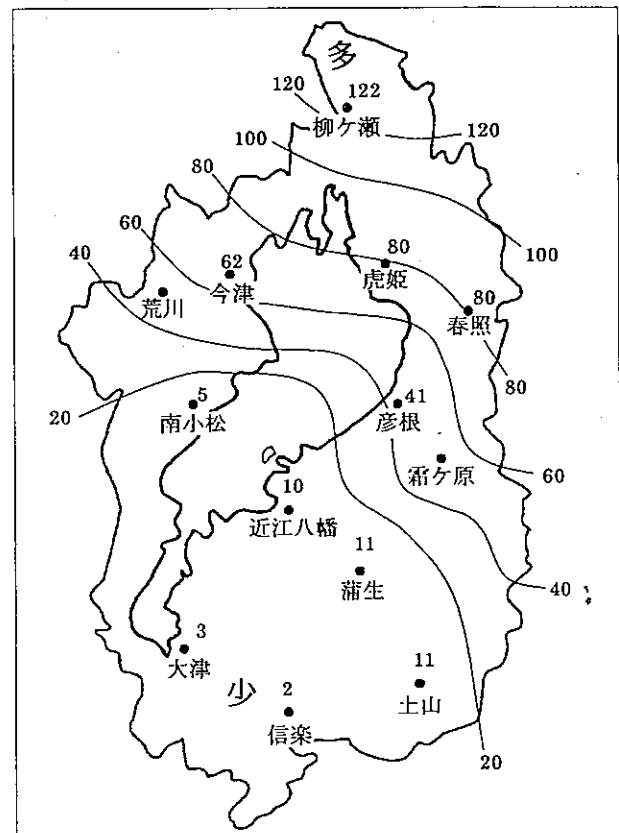
観測所	日	1日
柳ヶ瀬		122
今津		62
虎姫		80
荒川		-
春照		80
南小松		5
彦根		41
近江八幡		10
霜ヶ原		-
蒲生		11
大津		3
信楽		2
土山		11

-=なし

【積雪分布図】

(2月1日09時)

単位 (cm)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
南部 風雪注意報 北部 大雪・風雪・なだれ注意報	30日07時30分	発表
南部 大雪・風雪注意報 北部 大雪警報・風雪・なだれ注意報	31日16時20分	切替
南部 風雪注意報 北部 大雪・風雪・なだれ注意報	1日07時50分	〃
南部 大雪・風雪注意報 北部 大雪・風雪・なだれ注意報	1日11時20分	〃
南部 風雪注意報 北部 大雪・風雪・なだれ注意報	1日22時00分	〃
北部 なだれ注意報	2日05時30分	〃

(イ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	31日16時20分	配備
〃	1日07時50分	解除

(ウ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻
大雪に関する情報第1号	31日21時40分

Ⅳ 被害の状況

(ア) 人的被害

区 分	人	被災市町村(人)
軽 傷	2	湖北町(2)

(イ) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
一 部 破 損	5	5	18	長浜市(4・4・14) 近江町(1・1・4)

(ウ) 農林水産・土木関係被害

区 分	棟	被災市町村
ビニールハウス	1	安曇川町

(エ) 被害金額

区 分	金額(千円)
農産被害	470
その他	250
《被害総額》	720

(オ) その他の状況

路 線	状 態	日 付
名神高速道路	彦根一竜王間 通行止め	1日午前11時～
北陸自動車道	木之本一敦賀間 通行止め	1日午前11時15分～

V 被害の状況

2月10日~14日に被害が判明した分である。(1月30日~2月3日の降雪が原因)

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	棟	被災市町村(棟)
パイプハウス	46	草津市(37) 守山市(1) 栗東町(4) 甲西町(3) 水口町(1)

(イ) 被害金額

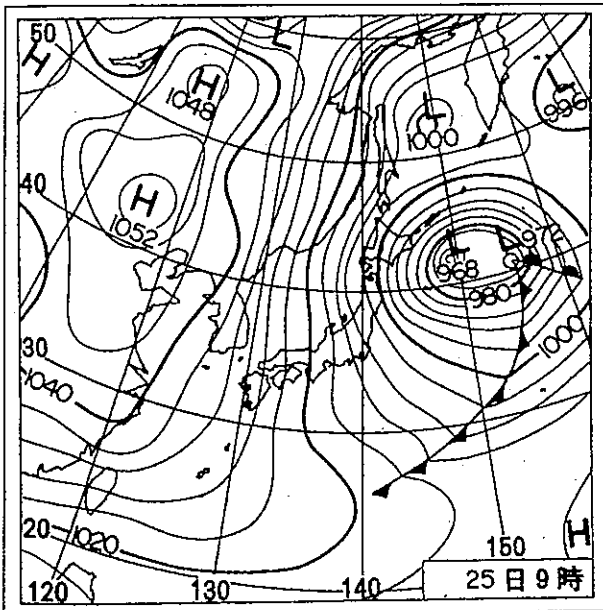
区分	金額(千円)
農林水産業施設	6,100
〈小計〉	6,100
農産被害	9,185
水産被害	150
《被害総額》	15,435

大雪(12月24日~27日)

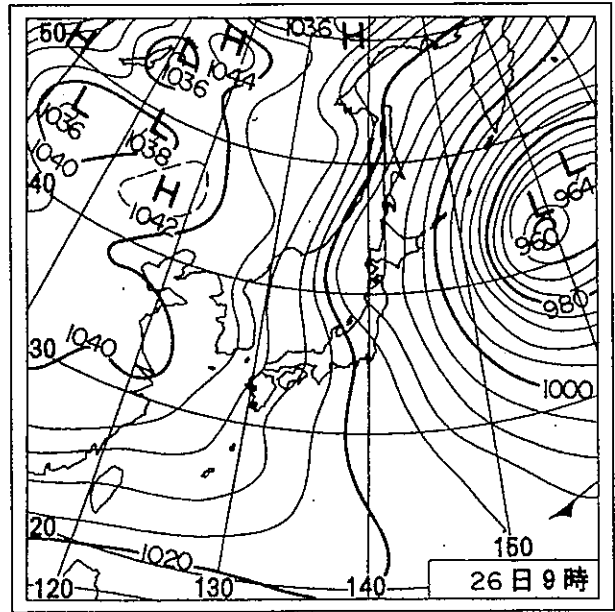
I 気象の概要

24日は低気圧が急速に発達しながら日本海を東に進んだ。25日はこの低気圧が北海道の東海上で更に発達して日本の上空には非常に強い寒気が流れ込み、26日にかけて強い冬型となった。

【12月25日9時の天気図】



【2月26日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雪の状況

滋賀県では24日夜から雪が降り、27日昼頃まで大雪が続いた。

単位 (cm)

地域気象観測所における09時の積雪の深さ

(12月25日～27日09時)

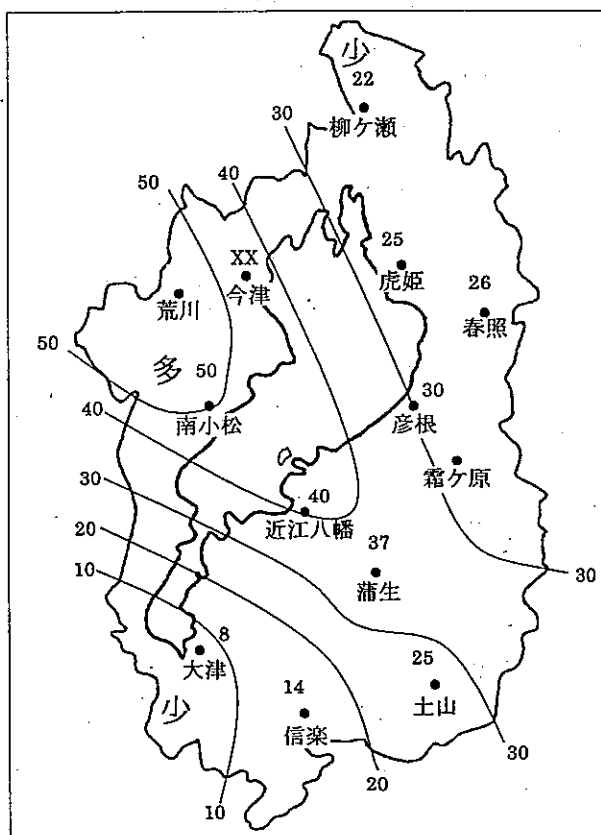
観測所	日	25日	26日	27日
柳ヶ瀬		17	22	29
今津		XX	XX	XX
虎姫		20	25	27
荒川		-	-	-
春照		25	26	27
南小松		31	50	48
彦根		24	30	36
近江八幡		20	40	25
霜ヶ原		-	-	-
蒲生		17	37	46
大津		3	8	16
信楽		5	14	20
土山		15	25	10

XX=欠測 - =なし

【積雪分布図】

(12月26日09時)

単位 (cm)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発 表 切 替 ・ 解 除
南部 風雪注意報、北部 風雪・雷注意報	24日16時20分	発表
大雪・風雪・雷注意報	24日21時30分	切替
北部 大雪警報・風雪・雷・なだれ注意報	25日09時30分	〃
南部 大雪警報・風雪・雷注意報	25日16時00分	〃
北部 大雪・風雪・なだれ注意報	26日09時55分	〃
南部 大雪・風雪注意報	26日14時30分	〃
南部 大雪注意報、北部 大雪・なだれ注意報	27日10時10分	〃
なだれ注意報	27日13時25分	〃

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
大雪に関する情報第1号	25日09時30分	大雪に関する情報第4号	26日09時55分
大雪に関する情報第2号	25日21時30分	大雪に関する情報第5号	27日09時45分
大雪に関する情報第3号	26日06時30分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	25日09時30分	配備
〃	26日09時55分	解除

IV 被害の状況

(ア) 人的被害

区 分	人	被災市町村
死 者	1	大津市
軽 傷	1	大津市

(イ) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
一部破損	2	2	8	八日市市(1・1・2) 日野町(1・1・6)
非住家	公共建物	2		日野町(1) 永源寺町(1)
	その他	6		日野町(3) 五個荘町(3)

(ウ) 農林水産・土木関係被害

区 分	棟	戸	被災市町村(棟、戸)
電 気		750	日野町(50) 永源寺町(80) 彦根市(20) 米原町(600)
ビニールハウス	169		大津市(2) 草津市(18) 守山市(17) 栗東町(7) 中主町(15) 野洲町(1) 甲西町(13) 水口町(6) 近江八幡市(11) 八日市市(8) 蒲生町(6) 日野町(1) 竜王町(3) 永源寺町(3) 五個荘町(1) 能登川町(5) 彦根市(13) 愛東町(14) 湖東町(4) 秦荘町(2) 豊郷町(3) 甲良町(1) 多賀町(1) 安曇川町(1) 高島町(7) 新旭町(6)

(エ) 被害金額

区 分	金額(千円)
農林水産業施設	39,653
その他の公共施設	50
〈小 計〉	39,703
農産被害	90,150
畜産被害	19,650
その他	500
《被害総額》	150,003

(オ) その他の状況

区 分	被 害 の 状 況
鉄 道 事 故	25日踏切内で乗用車と衝突1件。26日除雪作業をしていたラッセル車が回送電車と衝突3名が負傷。26日踏切内で車と衝突事故2件。
雪による交通事故	24日18時から27日24時までの事故件数11件、うち死者1名、負傷者14名。 27日北陸自動車でシャーベット状の雪が残っており10台が関係する衝突事故で死者1名、負傷者数名。(県警調べ)
交 通 障 害	24日21時から名神高速道路、北陸自動車道などで通行止めとなったが、昼間は解除された箇所もあり、夜間に入ってから再び通行止めとなり27日までつづいた。京滋バイパス25日18時から全面通行止め。国道や県道などでも一時通行止めがあった。

◆落雷（4月21日）

I 気象の概要

21日は日本の東海上の高気圧に覆われ晴れていたが、気圧の谷の接近で大気が不安定となったため、22日にかけて一時雨が降り、所によって雷を伴った。

II 被害の状況

(ア) 被害金額

区 分	金額 (千円)	被災市町村名
農林水産施設	2,000	日野町
〈被害総額〉	2,000	

◆ひょう害（5月8日）

I 気象の概要

高気圧に覆われ晴れた所が多かったが、上空に寒気が入り、大気の状態が不安定となって所々でにわか雨が降り、ひょうが降った所もあった。

II 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区 分	棟	被災市町村 (棟)
ビニールハウス	40	栗東町

(イ) 被害金額

区 分	金額 (千円)
農産被害	2,100
〈被害総額〉	2,100

平成 8 年

(1996年)

気象概況

1月は上旬末頃と月末に冬型が強まって大雪となった。15日は南岸の前線上を低気圧が通り一時強い雨が降った。彦根の1時間降水量15.0mmは1月としては最も多い記録となった。2月も上旬末頃に強い寒気が入り、風雪が強まって大雪となった。気温は平年より低くかった。3月は寒暖の変動が大きかった。4月は前半を中心に一時冬型の気圧配置となり県下各地で降雪があった。気温は平年よりかなり低かった。月降水量は平年比23~49% (かなり~やや少ない)であった。彦根の月降水量は31.5mmで4月では最も少ない記録になった。桜の開花は4月8日で平年より3日遅かった。5月は前半天気は周期的に変わり、後半は高気圧に覆われ晴れの日が多かった。また、22日には強い雷雲が発生し、南部を中心にひょうが降った。

6月は7日頃に梅雨入りとなり、後半は梅雨前線が日本付近に停滞し雨の日が続いた。7月上旬までは梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、11日頃に梅雨明けとなり、次第に太平洋高気圧に覆われて暑い日が続いた。7月の月降水量は平年比33~90% (やや少ない~平年並み)であった。8月は中旬に台風第12号の影響を受け、また、下旬には秋雨前線の影響で雨が降ったほかは太平洋高気圧に覆われ暑い日が続いた。8月の降水量は平年比75~310% (平年並み~かなり多い)であった。

9月の天気は周期的に変わったが、秋雨前線や台風などの影響で曇りや雨で気温の低い日が多かったが、降水量は平年比53~90% (やや少ない~平年並み)であった。

10月は中旬前半までは短い周期で天気が変わったが、中旬後半からは高気圧に覆われて晴れの日が続いた。

11月は上旬から中旬にかけて低気圧や秋雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、下旬後半は冬型の気圧配置となり、上空に寒気が入って北部を中心にしづれた。

12月は1日から2日にかけて強い冬型の気圧配置となり、上空に真冬並みの強い寒気が流れ込み大雪となった。下旬後半は移動性高気圧に覆われ、気温も高く穏やかな年末となった。月降水量は平年比109~282% (平年並み~かなり多い)であった。

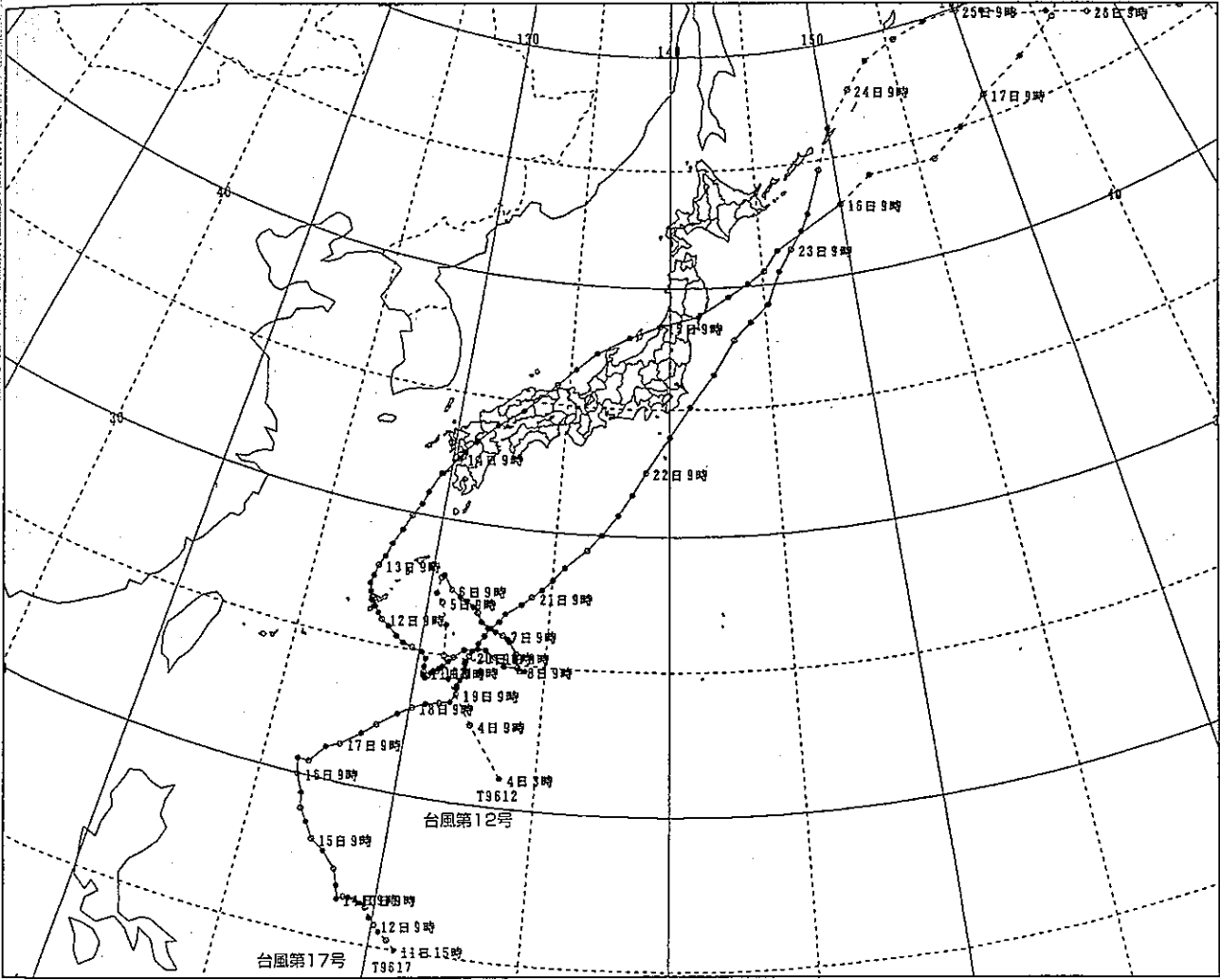


台風

(1) 台風の概況

台風の発生数は26個で、平年(1961年~1990年)の27.8個に比べると約2個少なかった。月別に見ると7月~9月の3ヶ月間の発生数は17個と平年の14.9個を上回ったが、その他の月は平年よりも少なかった。日本への接近数は10個で、平年よりも1個少なかった。このうち2個が日本本土に上陸している。

【日本に影響のあった台風の経路】



《彦根地方気象台における極値》

台風番号	最低気圧	最大風速	最大瞬間風速
台風第12号	990.3hPa	S E 14.8m/s	S E 29.4m/s
台風第17号	995.3hPa	NNW 13.0m/s	NNW 23.4m/s

(2) 災害の状況

◆台風第12号(8月14日~15日)

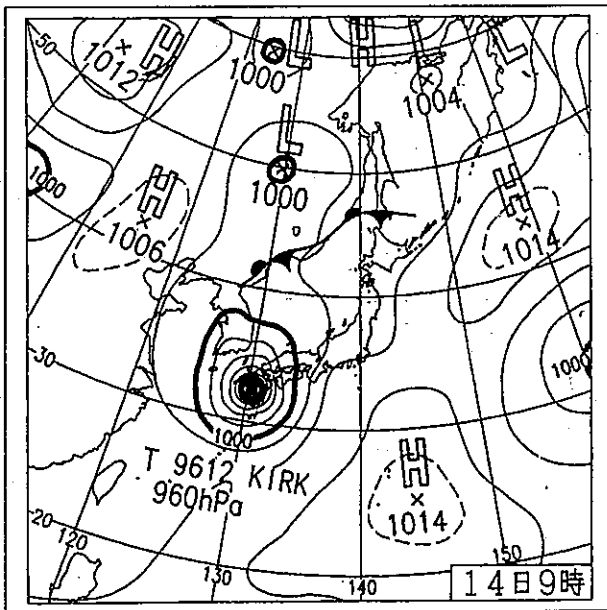
I 気象の概要

8月4日03時に南大東島の南海上で発生した弱い熱帯低気圧は北北西に進みながら発達し、6日03時に奄美大島の南東の海上で台風第12号となった。台風は初めほぼ南東に進んだが、次第に速度を落とし、8日午後南大東島の東海上で進路を西寄に変えた。9日夜からゆっくり南西に進んだ後、11日には進路を北寄りに変えた。12日12時に沖縄本島の南東の海上で大型で強い勢力となり、同日15時過ぎに中心が沖縄

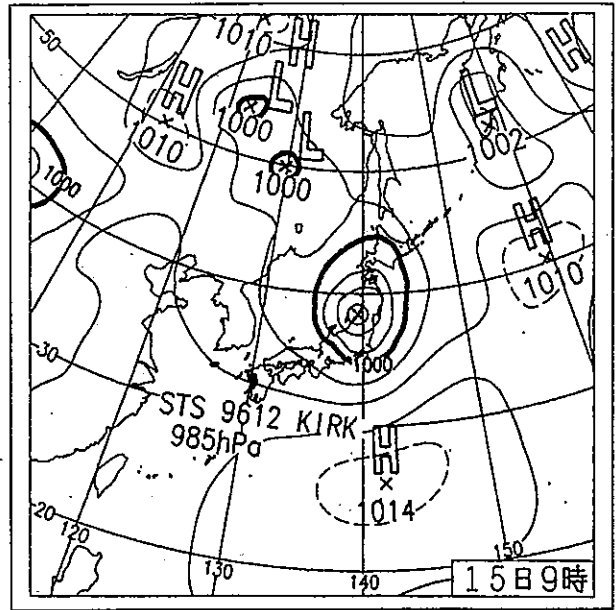
本島中部を通過した。13日からは進路を北北東に変えて東シナ海を北上し、14日10時過ぎに大型で強い勢力を維持し中心が熊本県熊本市付近に上陸した。上陸後は北東に進み、同日15時過ぎに中心が山口県東部(徳山市付近)に再上陸した。同日21時頃、日本海に進み、15日06時半頃、中心が佐渡島を通過した。同日09時頃、大型で並みの強さの勢力で中心が新潟県北部(村上市付近)に再上陸し、東北南部を通過した後、同日昼過ぎに三陸沖に進んだ。16日09時に北海道の東海上で温帯低気圧に変わった。

彦根における最低気圧は990.3hPa(14日21時58分)、最大風速は南東の風14.8m/s(14日21時10分)、最大瞬間風速は南東の風29.4m/s(14日20時24分)であった。

【8月14日9時の天気図】



【8月15日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

13日は南から湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となって土山などで局地的に短時間強雨が降った。14日は大型で並みの強さの台風第12号の影響で夜から県内全域で雨となり、特に、夜半前から所々で激しい雨が降り、14日の23時までの1時間に南小松で39mm、24時までの1時間に南小松で30mm、柳ヶ瀬で27mmを観測した。14日から15日の降水量は柳ヶ瀬、南小松が多かった。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(8月14日~15日)

観測所	日	14日	15日	計
柳ヶ瀬		35	76	111
今津		28	2	30
虎姫		18	14	32
荒川		50	4	54
春照		5	18	23
南小松		80	7	87
彦根		7	11	18
近江八幡		7	7	14
霜ヶ原		4	10	14
蒲生		5	7	12
大津		10	25	35
信楽		9	9	18
土山		6	2	8

《気象台観測所最大風速》

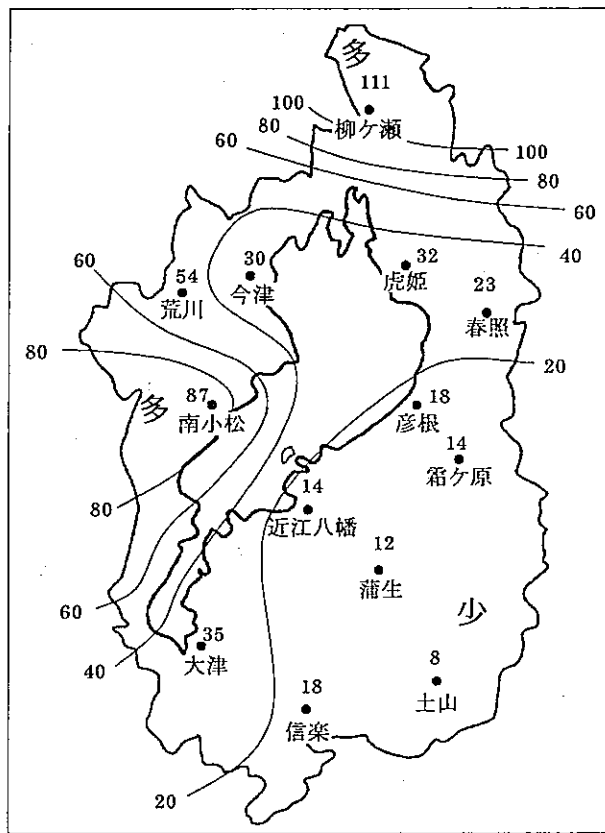
単位 (m/s)

地域気象観測所における最大風速

(8月14日~15日)

観測所	風速	日	時
今津	11	14日	22時
虎姫	8	14日	21時
南小松	6	14日	21時
彦根	15	14日	22時
蒲生	9	14日	22時
大津	7	15日	04時
信楽	8	14日	22時
土山	6	14日	20時

【降水量分布図】
(8月14日~15日) 単位 (mm)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種	類	発表時刻	発表・切替・解除
雷・強風注意報		14日08時30分	発表
暴風警報・大雨・洪水・雷注意報		14日17時40分	切替
大雨・洪水・暴風警報・雷注意報		14日23時20分	〃
大雨・洪水・雷・強風注意報		15日02時20分	〃
南部 強風注意報、北部 大雨・洪水・雷・強風注意報		15日04時10分	〃
強風注意報		15日08時40分	〃
雷注意報		15日13時50分	〃 (大雨・洪水・雷・強風注意報解除)

(イ) 気象情報

種	類	発表時刻	種	類	発表時刻
台風に関する情報第1号		14日10時10分	台風に関する情報第5号		15日01時15分
台風に関する情報第2号		14日16時10分	台風に関する情報第6号		15日04時20分
台風に関する情報第3号		14日19時10分	台風に関する情報第7号		15日07時20分
台風に関する情報第4号		14日22時10分			

(ウ) 県の対策状況

種	類	配備時刻	配備・切替・解除
第2号警戒体制		14日17時40分	配備
第1号警戒体制		15日02時20分	切替
〃		15日08時40分	解除

IV 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
一部破損	1	8	20	守山市(1・8・20)
非住家 公共建物	1			彦根市

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	戸	箇所	棟	被災市町村(戸・箇所・棟)
道路		20		大津市(19) 高島町(1)
電話	1,480			八日市市(730) 西浅井町(650) 安曇川町(100)
ブロック塀		1		高島町
ビニールハウス			57	草津市(48) 近江八幡市(1) 竜王町(3) 彦根市(3) 長浜市(1) 西浅井町(1)

(ウ) 被害金額

区分	金額(千円)
公共土木施設	6,430
その他の公共施設	200
〈小計〉	6,630
農産被害	10,720
その他	460
〈被害総額〉	17,810

(エ) その他の状況

区分	被害の程度
交通障害	名神高速道路、北陸自動車道、京滋バイパスの全線で時速50kmの速度規制

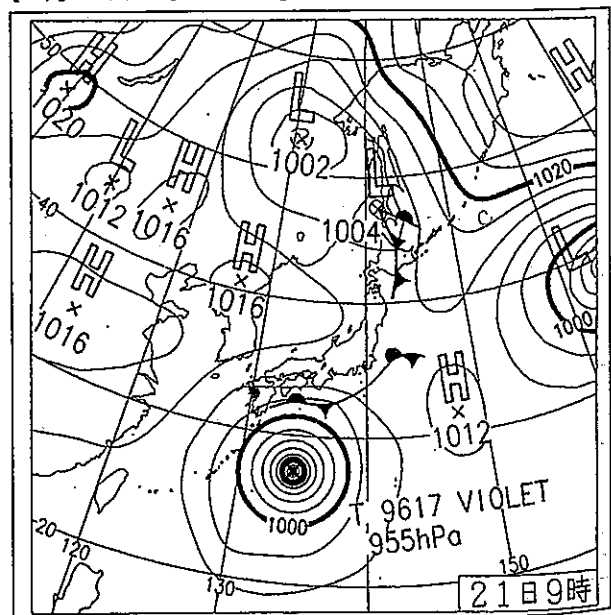
◆台風第17号(9月21日~23日)

I 気象の概要

9月11日15時にフィリピンの東海上で発生した弱い熱帯低気圧は北西に進みながら発達し、13日09時に同海域で台風第17号になった。台風はほぼ北西に進みながら発達し、16日03時に同海域で大型で非常に強い勢力となった。同日夜、沖縄の南海上で進路を北東に変えたが、19日から20日にかけては一時北寄りに進んだ。22日午前、大型で強い勢力で八丈島の西の海上を通り、同日午後、房総半島の東海上を北北東に進んだ。同日夜には三陸沖を通り、23日には北海道の東海上を北北東に進んだ。同日21時に千島近海で台風は温帯低気圧に変わった。

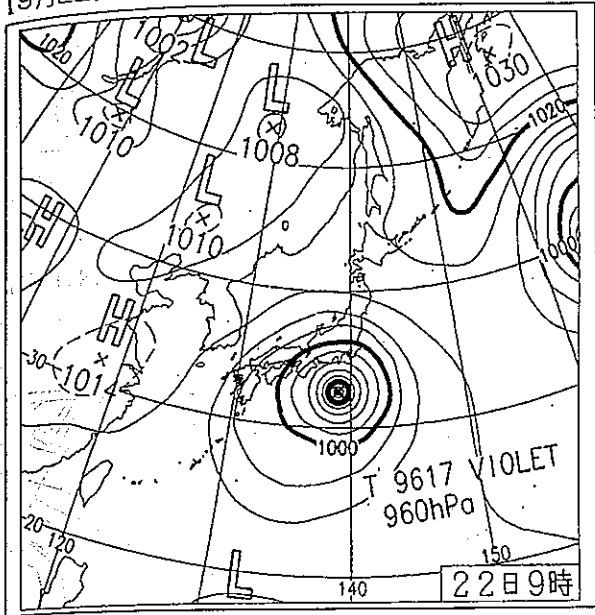
彦根における最低気圧は995.3hPa(22日13時29分)、最大風速は北北西の風13.0m/s(22日11時40分)、最大瞬間風速は北北西の風23.4m/s(22日11時34分)であった。

【9月21日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

【9月22日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

《気象台観測所最大風速》

単位 (m/s)

地域気象観測所における最大風速

(8月22日)

観測所	風速	日 時
今 津	12	22日13時
虎 姫	6	22日13時
南 小 松	11	22日13時
彦 根	12	22日12時
蒲 生	10	22日12時
大 津	6	22日17時
信 楽	7	22日14時
土 山	4	22日14時

II 降雨の状況

滋賀県では22日午後から夜半過ぎにかけて、北部中心に雨が降ったが降水量は少なかった。

III 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発 表 ・ 切 替 ・ 解 除
強風注意報	21日18時30分	発表
強風注意報	22日09時20分	切替
〃	23日05時15分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
台風に関する情報第1号	21日16時55分	台風に関する情報第3号	22日10時10分
台風に関する情報第2号	22日08時20分	台風に関する情報第4号	22日15時50分

IV 被害の状況

(ア) 交通障害

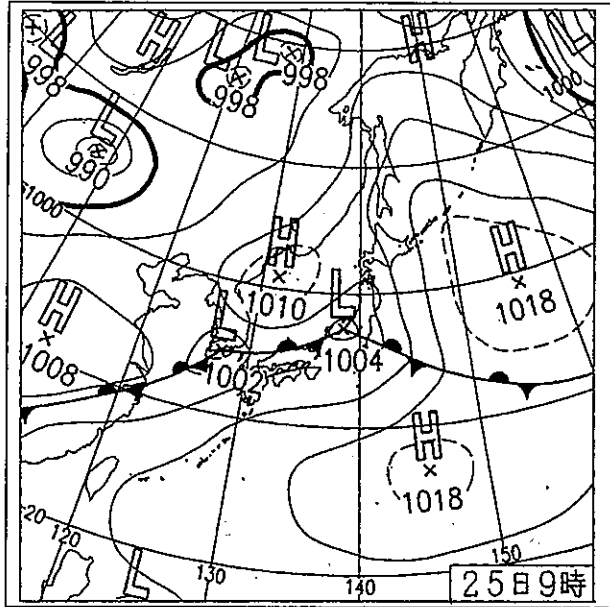
区 分	被 害 の 状 況
交通障害	J R 湖西線の堅田～近江今津駅間で、強風のため09時過ぎから約5時間半運転を見合わせ、48本が運休した。

◆豪雨（6月24日～26日）

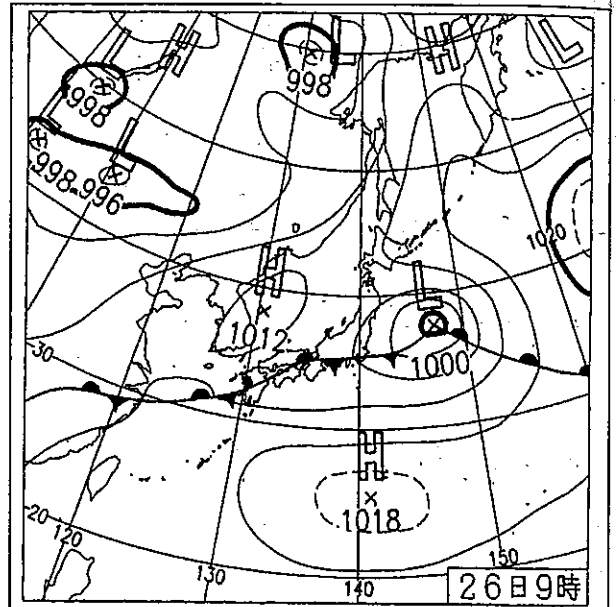
I 気象の概況

24日は、前線上の揚子江下流に発生した低気圧が山陰沖に進んだのに伴い前線が北上、
25日は、前線上の低気圧が山陰沖から東北地方南部を通して三陸沖に進み、前線は26日にかけて西日本付近に停滞した。

【6月25日9時の天気図】



【6月26日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

滋賀県では24日午後から全域で断続的に雨となり、特に、25日夜半前から26日朝の内にかけて強い雨が降った。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

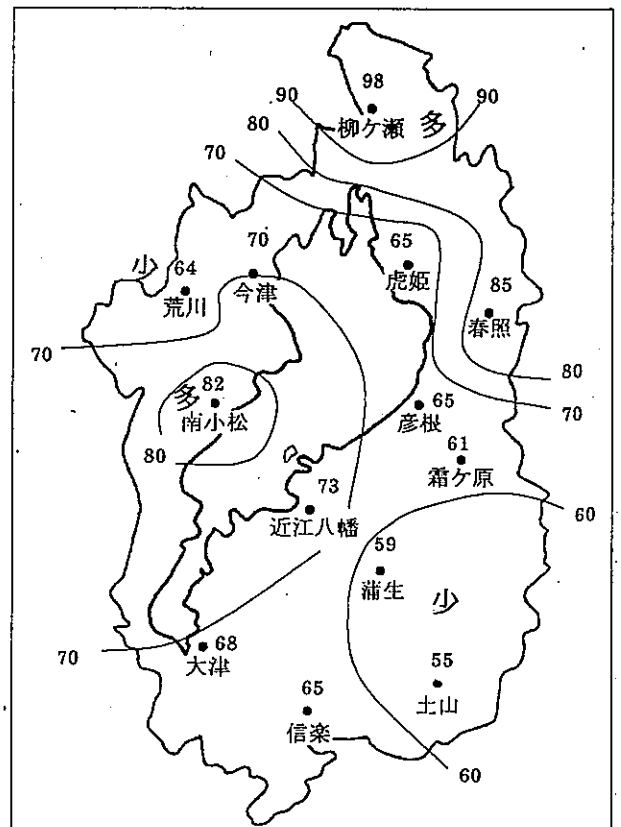
(6月24日～26日)

観測所	日	24日	25日	26日	計
柳ヶ瀬		23	63	12	98
今津		21	29	20	70
虎姫		18	26	21	65
荒川		12	29	23	64
春照		28	31	26	85
南小松		28	19	35	82
彦根		18	10	37	65
近江八幡		22	7	44	73
霜ヶ原		15	6	40	61
蒲生		13	5	41	59
大津		16	2	50	68
信楽		9	1	55	65
土山		7	4	44	55

【降水量分布図】

(6月24日～26日)

単位 (mm)



Ⅲ 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村
道路	1	永源寺町

(イ) 被害金額

区分	金額(千円)
公共土木施設	2,000
〈小計〉	2,000
〈被害総額〉	2,000

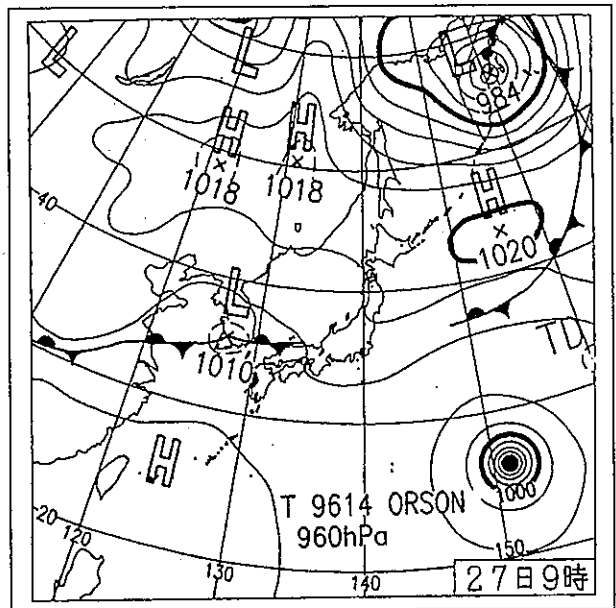
◆秋雨前線豪雨(8月27日~29日)

I 気象の概況

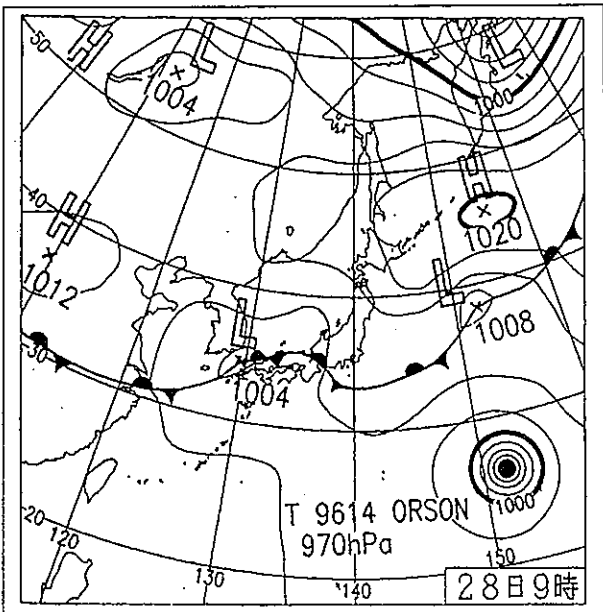
西日本に停滞する秋雨前線上を低気圧が東進し、秋雨前線の活動が活発な状態が続き、非常に発達した雨雲が次々と県内に進んできた。

このため、雷を伴い短時間に強い雨が降るなど県内全域で大雨となった。

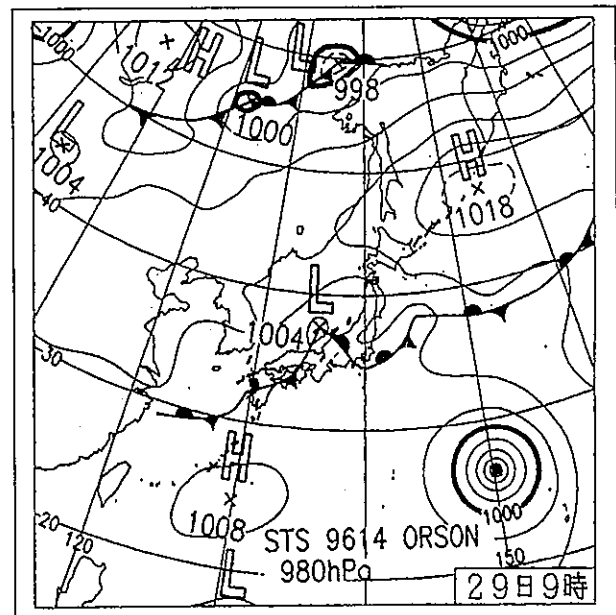
【8月27日9時の天気図】



【8月28日9時の天気図】



【8月29日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

27日は、秋雨前線上の黄海に発生した低気圧が日本海西部に進んだ。28日は梅雨前線上の対馬近海に発生した低気圧が山陰沖に進んだ。29日は、低気圧が山陰沖から秋田沖に進み、前線が西日本を通過した。

滋賀県では26日の夜半前から雨が降り始め、29日にかけて全域で短時間強雨を伴う大雨となった。1時間降水量30mm以上を観測したのは、28日11時に大津で39mm、16時に今津30mm、荒川34mm、17時に春照30mm、近江八幡30mm、29日にも05時に大津で44mm、07時に近江八幡で33mm、15時に土山で36mmを観測した。

特に近江八幡では1時間降水量10~20mmの強雨が28日05時から12時まで連続して8時間も降り続いた。27日から29日までの降水量は近江八幡298mm、大津277mm、南小松253mmなどが多かった。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

【降水量分布図】

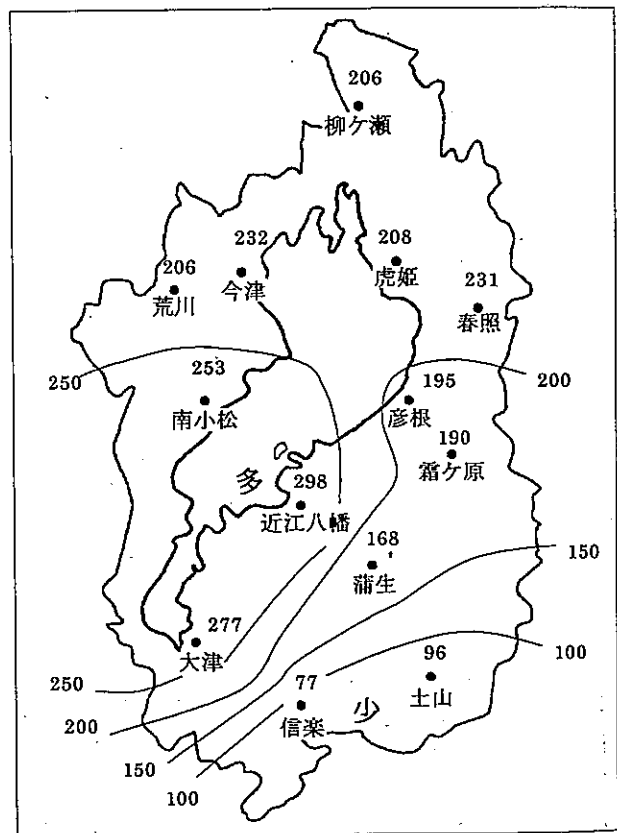
単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(8月27日~29日)

(8月27日~29日)

観測所	日	27日	28日	29日	計
柳ヶ瀬		61	124	21	206
今津		82	131	19	232
虎姫		68	99	41	208
荒川		55	136	15	206
春照		76	109	46	231
南小松		71	161	21	253
彦根		44	115	36	195
近江八幡		74	170	54	298
霜ヶ原		40	133	17	190
蒲生		54	57	57	168
大津		86	91	100	277
信楽		40	22	15	77
土山		35	17	44	96



III 出水の状況

山陰沖の低気圧とそれにより活発化した秋雨前線が停滞し、26日の夜から29日の日中にかけて、多いところでは近江八幡で298mmに達するなど南部地域を除く県下各地で豪雨となった。

この雨は27日の日中から29日明け方にかけて強く降ったもので、時間雨量が最高59mmという短時間に集中的に降った箇所もあった。また最大24時間雨量についても、多いところでは208mmに達し、広い範囲で100mm以上を記録した。

この雨により県内の河川は増水し、警戒水位を越す河川もあった。姉川では28日の夕刻に水防警報を発令し、警戒すとともにその他の河川においても県、市町村や地元水防団が警戒にあたった。

短時間に集中して降ったことなどから、小河川は溢水し家屋が床上・床下浸水したほか、農林水産業施設被害等も出た。

公共土木施設被害については、各地で県管理、市町管理の河川の河岸欠損や道路の法面崩壊等の被害が出た。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	専任土木事務所名	警戒水位(m)	最高水位(m)	日時
祖父川	鴉川橋	八日市土木	1.50	1.67	29日02時
姉川	難破橋	長浜土木	2.70	2.81	29日04時
大川	岩熊橋	木之本土木	1.20	1.28	29日01時
石田川	弘川	今津土木	1.80	1.93	29日01時

IV 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発表時刻	発表・切替・解除
大雨・洪水・雷注意報	27日14時50分	発表
大雨・洪水・雷注意報	28日04時45分	切替
大雨・洪水警報・雷注意報	28日08時20分	〃
大雨・洪水・雷注意報	29日08時50分	〃
雷注意報	29日18時30分	〃
〃	30日04時40分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発表時刻
大雨に関する情報第1号	27日22時30分

(ウ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	27日14時50分	配備
第2号警戒体制	28日08時20分	切替
第1号警戒体制	29日08時50分	〃
〃	29日18時30分	解除

V 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
一部破損	1	1	4	大津市(1・1・4)
床上浸水	2	2	8	大津市(2・2・8)
床下浸水	88	88	277	大津市(9・9・36) 志賀町(2・2・5) 草津市(6・6・24) 守山市(2・2・5) 野洲町(4・4・16) 近江八幡市(4・4・17) 八日市市(15・15・60) 安土町(2・2・8) 五箇荘町(1・1・4) 甲良町(1・1・5) 長浜市(41・41・96) 米原町(1・1・1)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
道路	44	大津市(43) 五箇荘町(1)
河川	36	大津市(23) 守山市(1) 菟王町(12)
ビニールハウス	1	甲良町(1)

(ウ) 被害金額

区 分	金額 (千円)
農林水産業施設	65,100
公共土木施設	138,719
その他の公共施設	3,000
〈小 計〉	206,819
農産被害	3,384
林産被害	223,450
《被害総額》	433,653

(エ) その他の状況 (交通障害)

区 分	被 害 の 状 況
道 路	損壊1箇所、山・がけ崩れ3箇所、名神高速道路、北陸自動車道、京滋バイパスの全線で時速50kmの速度規制。国道・県道等20路線が落石・崩土の恐れのため通行止め。 その他、草津市の湖周道路が300mにわたって冠水。
鉄 道	JRは湖西線、東海道線、北陸線で徐行運転のため32本が運休し、約56,000人に影響があった。

◆雷雨 (8月21日)

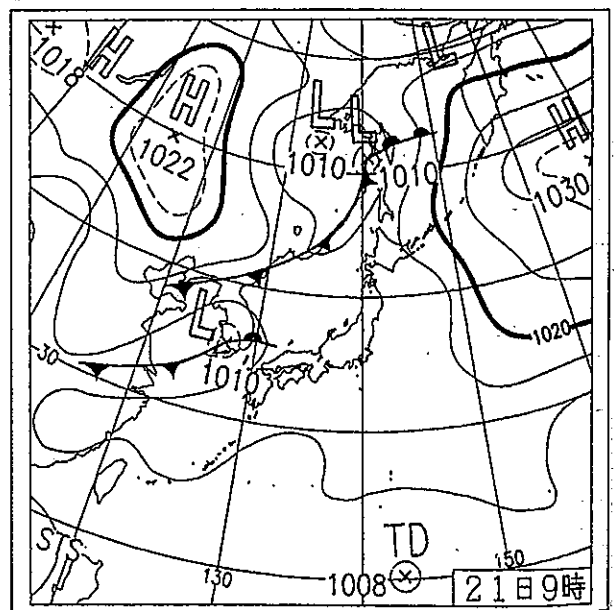
I 気象の概要

日本の東海上に中心を持つ高気圧に覆われ晴れていたが、上空に寒気が流れ込み大気の状態が不安定となり、南部を中心に所々にわか雨や雷雨が発生した。

II 降雨の状況

大気の状態が不安定となって局地的に雷雲が発達し激しい雨が降った。大津では17時から20時までの3時間に44mmを観測した。

【8月21日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

III 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区 分	回線	被災市町村 (回線)
電 話	700	大津市 (700)

3

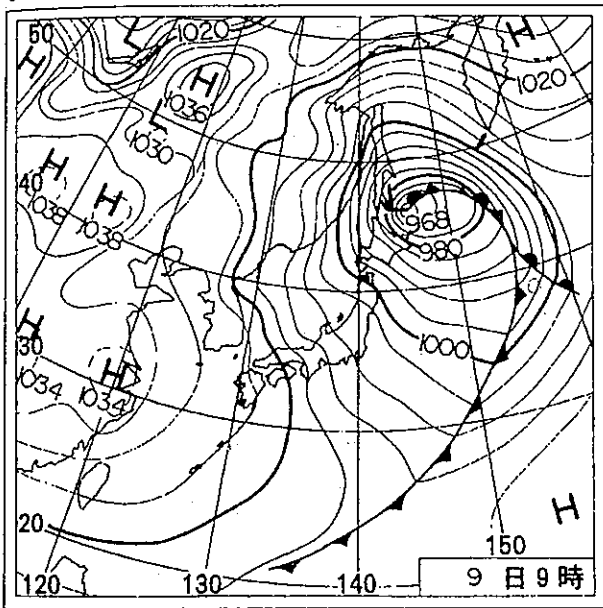
雪 害

◆大雪(1月8日~10日)

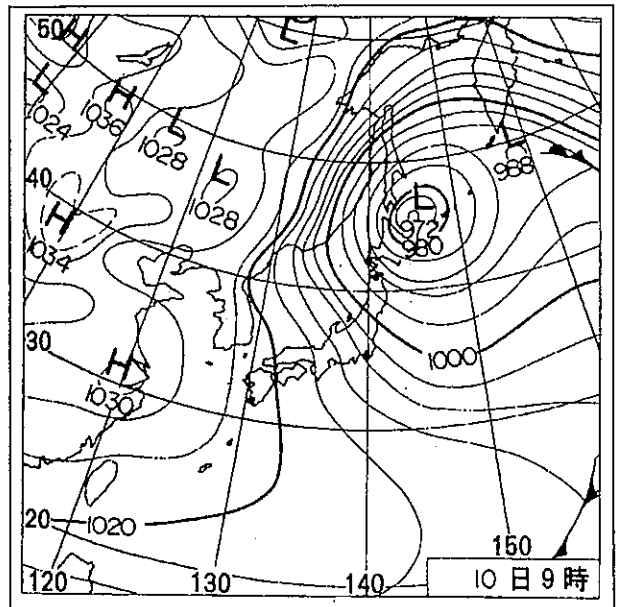
I 気象の概要

1月7日夜から8日朝にかけて日本海を北東へ進んだ低気圧は、8日夜から9日にかけて北海道の東海上で非常に発達して強い冬型の気圧配置となった。9日夜には上空に更に強い寒気が流れ込み、降雪が激しくなった。

【1月9日9時の天気図】



【1月10日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雪の状況

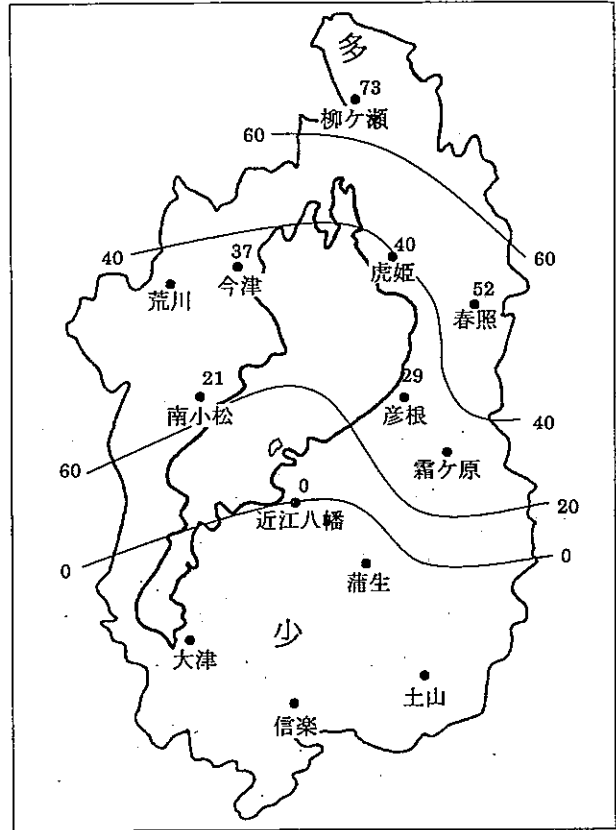
9日夜には上空に更に強い寒気が流れ込んで風雪が強まり大雪となった。

単位 (cm)
地域気象観測所における09時の積雪の深さ
(1月9日～10日09時)

観測所	日	9日	10日
柳ヶ瀬		32	73
今津		13	37
虎姫		20	40
荒川		-	-
春照		19	52
南小松		18	21
彦根		14	29
近江八幡		2	0
霜ヶ原		-	-
蒲生		1	-
大津		0	-
信楽		1	-
土山		-	-

- = なし 0 = 1cm未満

【積雪分布図】
(1月10日09時) 単位 (cm)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発表時刻	発表・切替・解除
大雪・風雪・雷注意報	8日19時50分	切替
北部 大雪・風雪・雷注意報 南部 風雪注意報	9日05時30分	発表
北部 大雪警報・風雪・雷・なだれ注意報 南部 風雪注意報	9日21時30分	切替
北部 大雪警報・風雪・なだれ注意報 南部 風雪注意報	10日13時00分	〃
北部 風雪・なだれ注意報 南部 風雪注意報	11日05時00分	〃

(イ) 気象情報

種 類	発表時刻	種 類	発表時刻
大雪に関する情報第1号	9日16時30分	大雪に関する情報第3号	10日10時10分
大雪に関する情報第2号	10日06時30分	大雪に関する情報第4号	10日17時00分

(ウ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	9日21時30分	配備
〃	11日05時00分	解除

IV 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

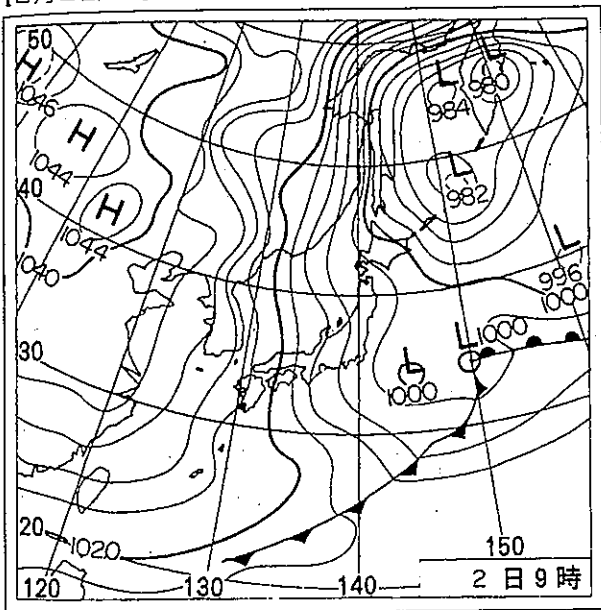
区分	回線	棟	被災市町村(回線、棟)
電話	3,262		彦根市(2,500) 伊吹町(2) 米原町(760)
ビニールハウス		2	長浜市(1) 西浅井町(1)

大雪(2月2日~5日)

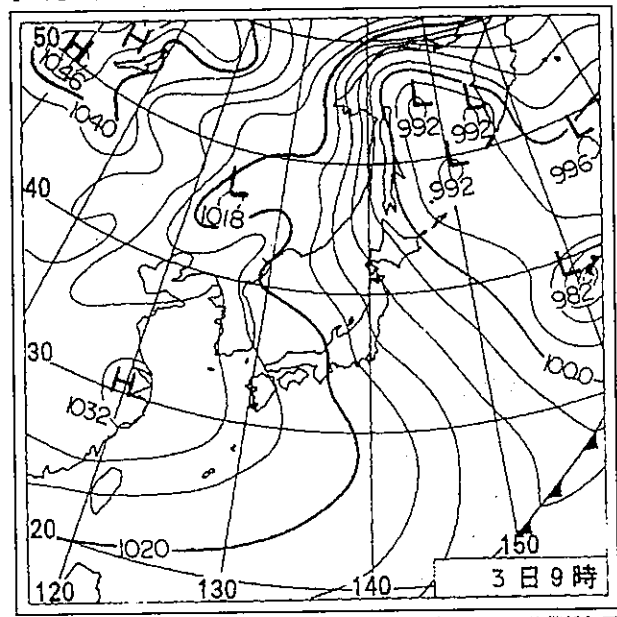
I 気象の概要

1月末から冬型の気圧配置が続いていた。2月1日~2日にかけて更に強い寒気が流れ込み、北部で大雪となった。

【2月2日9時の天気図】



【2月3日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雪の状況

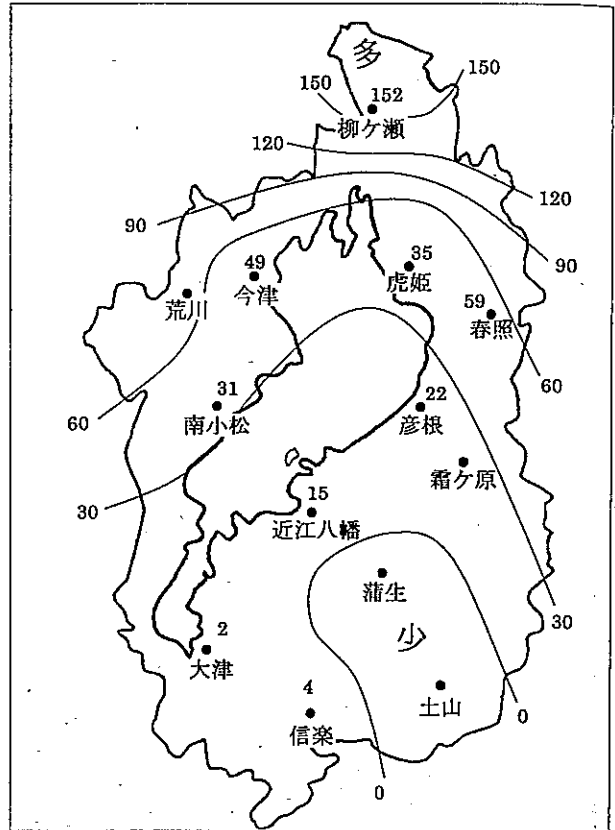
2月2日は冬型の気圧配置が続き上空に強い寒気が入ったため、日本海側は雪が降り大雪となった所があった。3日も冬型で雪が降り続き大雪となった。

単位 (cm)
地域気象観測所における09時の積雪の深さ
(2月1日～3日09時)

観測所	日	1日	2日	3日
柳ヶ瀬		103	154	152
今津		32	40	49
虎姫		30	35	35
荒川		-	-	-
春照		34	39	59
南小松		-	18	31
彦根		3	8	22
近江八幡		-	5	15
霜ヶ原		-	-	-
蒲生		-	3	-
大津		-	-	2
信楽		-	-	4
土山		-	-	-

- = なし

【積雪分布図】
(2月3日09時) 単位 (cm)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
北部 大雪・風雪・雷・なだれ注意報 南部 風雪注意報	1日20時50分	発表
北部 大雪警報・風雪・雷・なだれ注意報 南部 大雪・風雪注意報	2日06時05分	切替
北部 大雪・風雪・雷・なだれ注意報 南部 大雪・風雪注意報	2日19時30分	〃
北部 大雪・風雪・雷・なだれ注意報 南部 強風注意報	3日05時50分	〃
北部 なだれ注意報	3日17時30分	〃

(イ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	2日06時05分	配備
〃	2日19時30分	解除

(ウ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
大雪に関する情報第2号	1日16時30分	大雪に関する情報第4号	2日16時30分
大雪に関する情報第3号	2日09時50分		

IV 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	棟	被災市町村
ビニールハウス	1	西浅井町

(イ) その他の状況

区分	被害の程度
交通障害	2日、北陸自動車の上り今庄-長浜間、下り米原-福井間で通行止め。3日は上り敦賀-長浜間、下り米原-敦賀間で通行止め。JRでは新幹線が1日から3日にかけて始発から名古屋-新大阪間で徐行運転のため、1日は最高で26分遅れ、約49,000人が影響を受けた。2日は20~30分遅れ、3日は226本の列車が最高で約1時間20分遅れ、約13万人の乗客に影響があった。東海道線の新快速など上下7本が遅れ、約6,500人の通勤・通学の足が乱れた。また、2日09時から3日09時までの雪による事故は、537件で死者1名、負傷者22名がでた。(県警調べ)
学 校	2日は長浜市、八日市市、近江八幡市、伊香郡、東浅井郡、坂田郡で計16幼稚園、7小学校、6中学校が休園・休校。県全体で40園・校が授業時間を繰り下げた他、63園・校が授業を早めに終えた。高校は21校が授業短縮。養護学校は9校で家庭学習や授業打ち切りの措置が取られた。

◆融雪(12月3日)

I 気象の概要

1日に日本海を低気圧が通過後、冬型の気圧配置になり、夕方から雪になった。2日朝は各地で積雪になり、その後冬型が次第に緩み雪は昼頃から雨に変わった。3日は一時雨が降ったが、移動性高気圧に覆われ晴れて最高気温は6℃~8℃まで上がった。

II 被害の状況

1日の夕方から名神高速道路の京都東-名古屋間、北陸自動車道の米原-長浜間で通行止めとなった。2日08時過ぎには通行止めも解除されたが、昼過ぎにかけ速度規制やチェーン規制が続いた。JR新幹線は、1日夕方から名古屋-京都間で、東海道線は2日始発から豊橋-京都間で徐行運転を行い、それぞれ約30分の遅れが出てダイヤが大きく乱れた。

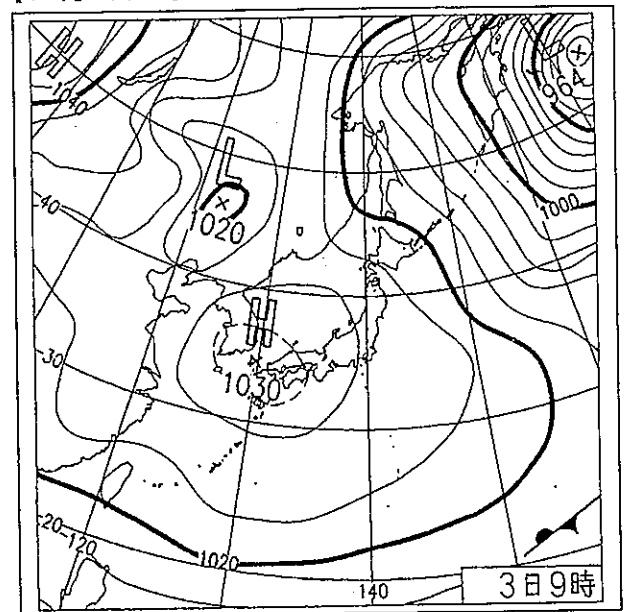
また、国道8号線、306号線の一部、鈴鹿スカイラインが一時通行止めとなった。

なお、この雪によりスリップなどによる事故が相次ぎ、1日夕方から2日昼過ぎまでに119件発生し、8人がけがをした。(県警調べ)

(ア) 被害金額

区 分	金額(千円)
農林水産業施設	33,053
〈小 計〉	33,053
《被害総額》	33,053

【12月3日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧



その他

◆降ひょう（5月22日）

I 気象の概要

22日の早朝、寒冷前線が通過し上空に寒気が入って大気の状態が不安定となり、雷雲が発生して所によってひょうが降った。

II 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	回線	棟	被災市町村（回線、棟）
電話	800		甲南町(100) 蒲生町(700)
ビニールハウス		23	守山市(5) 栗東町(15) 甲西町(3)

(イ) 被害金額

区分	金額(千円)	被災市町村名
農林水産業施設	3,000	守山市
〈小計〉	3,000	
農産被害	31,866	
〈被害総額〉	34,866	

(ウ) その他の状況

区分	被害の状況
電力停電	20日06時28分頃、湖南変電所から新草津変電所間の送電線が鉄塔に落雷した模様で、自動的に送電をストップしたため、大津市南部から草津市にかけての約3万戸が約1分間停電した。また、22日05時15分頃、甲賀郡甲南町杉谷の電柱に落雷があり、付近の住宅約100戸が50分間停電した。同じ頃八日市市蛇溝町の電柱にも落雷があり、同市南部や蒲生郡蒲生町北部の約700戸が約40分間停電した。
ひょうの状況	22日05時頃、守山市、野洲、中主、石部、水口、甲西町の湖南地方の広い範囲で、直径2.5cmの500円玉大で大粒なひょうが降り、露地のキュウリ、ナスなどの野菜やビニールハウスなどが被害を受けた。

(エ) 農業被害

区分	ha	棟	被災市町村(ha、棟)
水稲	0.5		中主町比江
野菜	7.1		守山市立田・新庄・服部、中主町比江・八夫・吉川・堤
果樹	6.2		守山市新庄・服部、野洲町北桜・大篠原、甲西町下田、竜王町山之上
ビニールハウス		22	守山市立田、栗東町葉山、甲西町岩根
ガラス温室		7	守山市立田、甲西町下田、菩提寺

◆落雷（7月3日）

I 気象の概要

3日は弱いながらも高気圧に覆われていたが、上空の寒気と日射により大気の状態が不安定となり一時雷雨があった。

II 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	被災市町村(棟)
ポンプ小屋	1	彦根市(1)

(イ) 被害金額

区分	金額(千円)
農林水産被害	76
〈小計〉	76
《被害総額》	76

◆土砂崩れ(3月1日)

I 気象の概要

2月29日から3月1日にかけて、西日本の南岸を低気圧が北東に進んだ。このため、滋賀県内全般に終日雨が降ったが、気温は高かった。

II 被害の状況

がけ崩れ

区分	被害の状況
道路	3月2日00時13分に坂田郡伊吹町黄河の県道で、西側の山肌が高さ70m、幅50mにわたって崩れた。このため、3日17時25分まで通行止めとなり、甲賀、曲谷、甲津原地区の合わせて114戸336人が孤立した。 その他、奥伊吹スキー場宿泊客30名が取り残された。
停電	電柱5本が折損・傾斜したため、約100戸が停電。
学校	近くの小・中学校各1校が臨時休校となった。

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	回線	箇所	被災市町村(箇所)
電話	120		伊吹町(120)
崖崩れ		1	伊吹町

(イ) 被害金額

区分	金額(千円)
公共土木施設	190,364
〈小計〉	190,364
《被害総額》	190,364

◆濃霧(10月30日)

I 気象の概要

30日の早朝は、移動性高気圧に覆われ、放射冷却により地表付近の水蒸気が冷やされ、県南部の広い範囲で濃霧が発生した。大津市では視界が50~100mまでになった。

II 被害の状況

区分	被害の状況
交通障害	名神高速道路では、八日市-京都東間で06時30分から約3時間、時速50kmの速度制限となった。また、JR東海道線は08時頃、快速電車2本が近江八幡-篠原間で徐行運転し、約10分遅れが出た。